科目名	イベント制作運営演習1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤　淳 江見　千尋
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ＆ミュージシャンコース	授業形態	演習	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	唐澤：アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務　江見：イベンターとして仕事をスタートし、その後　舞台監督、舞台照明などの業務に携わる						
授業の学習内容	江戸川文化センターで行われる骨髄移植推進キャンペーンニュージカル「明日への扉」の公演を教材にイベントスタッフとして必要な運営・制作の知識を実践的に学ぶ。 実践で行うことにより、舞台を創る流れや細かな段取りを学びながら業界に必要な人材として成長していく。						
到達目標	運営・制作の流れが理解出来る。 公演の際にスタッフの一員として参加出来る。						
評価方法と基準	授業の中でのレポート提出　30% 「明日への扉」に関しての積極的な発言や態度。関わりや、本番日の行動力、スタッフの一員として成り立っているか。それぞれに与えられた担当のなかで仕事を全うしているかを評価　70%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	「明日への扉」の内容について触れ、本公演を開催する意義を理解する	骨髄移植を推進するプロモーションをレポート用紙にて提出する
2	演習	運営のセクションの流れと段取りを学ぶ	運営とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
3	演習	制作のセクションの流れと段取りを学ぶ	制作とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
4	演習	その他のセクション（PA・照明・舞台・衣装管理・メイク）の流れと段取りを学ぶ	昨年のマニュアルを参考に関わり時期を調べておく
5	演習	運営スタッフ・制作スタッフ共通して使用する機材や備品の使い方について学ぶ	昨年のマニュアルを参考に実際に使用していた時期を調べておく
6	演習	各希望セクションに分かれ、運営：公演概要と運営方法を学ぶ　制作：稽古スケジュールを基に稽古期間の流れや	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
7	演習	運営：チケット発売方法と管理方法を学ぶ　制作：台本の使い方を学ぶ・稽古会場の仕込みを学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
8	演習	運営：協賛の必要性を学び協力をお願いする　制作：制作スケジュールの作成・各セクション香盤表を作成	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
9	演習	運営：ホールRHに伴う会場下見、必要備品の準備・調達　制作：ホールRHに伴う会場下見・使用会場の申請・楽屋	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
10	演習	運営：運営方法を学びマニュアルを作成する　制作：搬入・搬出方法を学ぶ・機材管理を学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
11	演習	運営：運営マニュアル読み合わせ　制作：各セクションへの伝達事項を学び実践する	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
12	演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
13	演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
14	演習	運営・制作共に終了報告書の作成方法を学び、作成する	授業に引き続き作成し提出
15	演習	各セクションごとに終了報告会を開催する	実践的に各セクションに取り組む
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度「明日への扉」公演マニュアル・概要書・終了報告書・今年度「明日への扉」台本

科目名	イベント制作運営演習2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤　淳 江見　千尋
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ&ミュージシャンコース	授業形態	演習	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	唐澤：アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務　江見：イベンターとして仕事をスタートし、その後　舞台監督、舞台照明などの業務に携わる						
授業の学習内容	ZEPPTOKYOで行われる卒業・進級制作展weareTSM！TSM渋谷！DA TOKYO！の公演を教材にイベントスタッフとして必要な運営・制作の知識を実践的に学ぶ。 実践で行うことにより、コンサートを創る流れや細かな段取りを学びながら業界に必要な人材として成長していく。						
到達目標	運営・制作の流れが理解出来る。 公演の際にスタッフの一員として参加出来る。						
評価方法と基準	授業の中でのレポート提出　30% 「明日への扉」に関しての積極的な発言や態度。関わりや、本番日の行動力、スタッフの一員として成り立っているか。それぞれに与えられた担当のなかで仕事を全うしているかを評価　70%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	卒業・進級制作展の内容について触れ、本公演を開催する意義を理解する	コンセプトの元公演演出の考案レポートを提出
2	演習	運営のセクションの流れと段取りを学ぶ	運営とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
3	演習	制作のセクションの流れと段取りを学ぶ	制作とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
4	演習	その他のセクション（PA・照明・舞台・衣装管理・メイク）の流れと段取りを学ぶ	昨年のマニュアルを参考に関わり時期を調べておく
5	演習	運営スタッフ・制作スタッフ共通して使用する機材や備品の使い方について学ぶ	昨年のマニュアルを参考に実際に使用していた時期を調べておく
6	演習	各希望セクションに分かれ、運営：公演概要とコンセプト内容を学ぶ　制作：公演の流れを理解し稽古スケジュールを組む	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
7	演習	運営：座席管理方法を学ぶ　制作：公演演出の流れを理解し機材の管理を行う	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
8	演習	運営：運営マニュアルの作成方法を学び作成する　制作：制作スケジュールの作成・各セクション香盤表を作成	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
9	演習	運営：ホールRHに伴う会場下見、必要備品の準備・調達　制作：ホールRHに伴う会場下見・使用会場の申請・楽屋振り分け	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
10	演習	運営：運営方法を学び作成する　制作：搬入・搬出方法を学ぶ・機材管理を学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
11	演習	運営：運営マニュアルの読み合わせ　制作：各セクションへの伝達事項を学び実践する	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
12	演習	卒業・進級制作展運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
13	演習	卒業・進級制作展運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
14	演習	運営・制作共に終了報告書の作成方法を学び、作成する	授業に引き続き作成し提出
15	演習	各セクションごとに終了報告会を開催する	実践的に各セクションに取り組む
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度「明日への扉」公演マニュアル・概要書・終了報告書・今年度「明日への扉」台本

科目名	チーム制作プロジェクトA （チーム制作プロジェクト1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	高田　雄貴
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ＆ミュージシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習内容	[1] ライブイベントの企画制作についての基礎知識を学習する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント（コンサート/ライブ他）企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要な業務を体験学習する						
到達目標	[1] ライブイベントの企画制作を依頼されても対応できる基礎知識を習得する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント（コンサート/ライブ他）企画の実施時における様々な事象の対応力を習得する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要なレベルの実務力を習得する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験（評価割合　40%） [2] 受講態度 ※課題提出（評価割合　60%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	プロジェクトの進め方の概要説明	プロフィールシートの作成
2	演習	ライブイベント実施に向けて（打合せ）を学ぶ	打合せ準備資料の作成
3	演習	ライブイベント実施[CIVILIAN]現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
4	演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]1st現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
5	演習	ライブイベント実施[Aoyama Project]1st・[QUEENS]1st現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
6	演習	ライブイベントを記録する（映像収録とWEB）の制作を学ぶ	ライブ映像の編集処理
7	演習	各ライブイベント実施に向けて（打合せ）を学ぶ	運営マニュアルの作成
8	演習	各ライブイベント実施に向けて（打合せ）を学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
9	演習	ライブイベント実施[SUN MUSIC GET LIVE]1st現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
10	演習	ライブイベント実施[QUEENS]2nd現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
11	演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]2nd現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
12	演習	ライブイベント実施[SUN MUSIC GET LIVE]2nd現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
13	演習	ライブイベント実施[Pro Musician FES!]現場での動きを学ぶ	運営マニュアルの作成・読み合わせ
14	演習	オーディションイベント実施[コロムビア・オーディション]現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
15	演習	オーディションイベント実施[コロムビア・オーディション]現場での動きを学ぶ	ライブ映像の編集処理
準備学習　時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度実績の概要書・終了報告書参照

科目名	チーム制作プロジェクトA （チーム制作プロジェクト2）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岡　秀樹
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ&ミュージシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	ライブハウス店長・ブッキングマネージャー、アーティストマネージャー						
授業の学習内容	エンターティメントの発信地である「渋谷」を拠点に活動しているライブハウスや音楽施設を知り、企業とプロジェクトを組み、生きたイベント企画・制作・運営・プロモーションを学ぶ。即戦力になる人材育成に向け実践力を身につける。						
到達目標	精度の高い企画書、実施要項、運営マニュアル、プロモーションプランを学生主体で作成できるようにする。イベント企画では、「独創的な企画を提案できる」こと、制作では「人・もの・お金・時間を管理」できること、運営では「進行を管理することができ、安心・安全な運営を円滑に行う」ことができること、プロモーションでは「既成概念に捉われること無く、自分たちに何ができるかを徹底的に追求し、時代に沿ったプロモーションを提案し実行」することを目標とする。						
評価方法と基準	授業内での積極的な発言や態度、プレゼンテーションの出来具合を評価　30% イベント本番日の行動力、企画制作、運営の技術、知識を振り返りシートにて評価　40% メール等のレスポンスの速さ、丁寧さ、プロモーション実行具合を評価30%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	新年度オリエンテーションの実施 (アイスブレイク、ブレインストーミング、映像鑑賞を終えての討論)	クラスでのコミュニケーションの振り返り
2	演習	コンサートの企画・制作・運営の考え方を学び、2年生が運営・制作を行う新入生歓迎ライブを見学する。	新入生歓迎ライブ出演者プロフィール把握、ステージセット把握
3	演習	エンターティメント施設取材①(企画書作成/渋谷施設調べ/アポどりシミュレーション)	渋谷にあるエンターテインメント施設を調べる
4	演習	エンターティメント施設取材②(アポどり/電話・メール・名刺交換シミュレーション)	希望する取材場所の施設の研究
5	演習	エンターティメント施設取材③(取材内容、取材方法を検討)	各自インタビュー記事の研究
6	演習	エンターティメント施設取材④(プレゼンテーション準備/パワーポイント作成/進行表作成/発表シミュレーション)	発表パワーポイント・発表進行表の作成
7	演習	エンターティメント施設取材⑤(プレゼンテーション実施/報告書の作成)	班員にて発表シミュレーション
8	演習	企業プロジェクト①(プロジェクト内容の説明・企業を紹介・担当者自己紹介)	エンターティメント取材報告書完成・提出
9	演習	企業プロジェクト②(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	企業研究(歴史、理念、業務内容)
10	演習	企業プロジェクト③(プロジェクト企画書：プロモーションプランの作成)	ディスカッションした内容を元に企画書・プロモーションリスト作成
11	演習	企業プロジェクト④(プロモーションの実践/運営マニュアルの作成)	プロモーションスケジュール作成、運営マニュアルラフ作成
12	演習	企業プロジェクト⑤(☑イベント当日の運営・制作を実践)☐	運営マニュアルの読み合わせ
13	演習	企業プロジェクト⑥(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ
14	演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を行う。	運営マニュアル作成・各セクション決め
15	演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を行う。	運営マニュアル読み合わせ
準備学習　時間外学習		各イベントや課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

DVD：MY GENERATION マイ・ジェネレーション(監督：バーバラ・コップ)

科目名	チーム制作プロジェクトB （チーム制作プロジェクト3）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	高田　雄貴
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ＆ミュージシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョード一東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習内容	[1] ライブイベントの企画制作についての基礎知識を学習する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント（コンサート/ライブ他）企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要な業務を体験学習する						
到達目標	[1] ライブイベントの企画制作を依頼されても対応できる基礎知識を習得する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント（コンサート/ライブ他）企画の実施時における様々な事象の対応力を習得する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要なレベルの実務力を習得する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験（評価割合　40%） [2] 受講態度 ※課題提出（評価割合　60%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	活動方針設定会議の概要を学ぶ	会議資料準備
2	演習	ライブイベント実施に向けて（打合せ）を学ぶ	打合せ準備資料の作成
3	演習	ライブイベントの告知と準備を学ぶ	イベント実施打合せ・プロモーション
4	演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]現場での動きを学ぶ	イベント後の終了報告書記入
5	演習	ライブイベント実施[Aoyama Project]]現場での動きを学ぶ	イベント後の終了報告書記入
6	演習	ライブイベント実施に向けて（打合せ）]を学ぶ	ライブ映像の編集処理
7	演習	ライブイベントの告知と準備を学ぶ学ぶ	運営マニュアルの作成
8	演習	ライブイベント実施[QUEENS]]現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
9	演習	ライブイベントの告知と準備を学ぶ	イベント実施打合せ・プロモーション
10	演習	ライブイベント実施[SUN MUSIC GET LIVE]]現場での動きを学ぶ	イベント後の終了報告書記入
11	演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]]現場での動きを学ぶ	イベント後の終了報告書記入
12	演習	ライブイベントの内容企画を学ぶ	企画書の作成・イベント企画打合せ
13	演習	ライブイベントの告知と準備を学ぶ	運営マニュアルの作成
14	演習	ライブイベント実施[Aoyama Project]・[QUEENS]現場での動きを学ぶ	イベント後の終了報告書記入
15	演習	年間活動内容総括会議	ライブ映像の編集処理
準備学習　時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度実績の概要書・終了報告書参照

科目名	チーム制作プロジェクトB （チーム制作プロジェクト4）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岡　秀樹
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ&ミュージシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	ライブハウス店長・ブッキングマネージャー、アーティストマネージャー						
授業の学習内容	企業とプロジェクトを組み、イベント企画・制作・運営・プロモーションを、アクティブラーニングによる主体的な学びをゼミ方式で実践する。						
到達目標	企業プロジェクトでは動員や収益など内容だけでなく収支にも着目し、数字をクリアするための方法論を検討し実践する。						
評価方法と基準	授業内での積極的な発言や態度、プレゼンテーションの出来具合を評価　30% イベント本番日の行動力、企画制作、運営の技術、知識を振り返りシートにて評価　40% 収支を測る方法論を理解し、現場での実行力を評価　40%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	特別講義(音楽業界人によるトークセッション)	ゲスト講師への質問事項を考えて提出する。
2	演習	企業プロジェクト①(プロジェクト内容の説明・企業を紹介・担当者自己紹介)	企業研究(歴史、理念、業務内容)資料を提出する。
3	演習	企業プロジェクト②(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	前年度のプロジェクト内容を把握し資料として提出する。
4	演習	企業プロジェクト③(プロジェクト企画書/プロモーションプランの作成)	企画書作成に必要な情報集め(アーティスト情報、アー写など)、SNS配信予定表を提出する
5	演習	企業プロジェクト④(プロモーションの実践/運営マニュアルの作成)	運営マニュアルに必要な情報を提出する。(図面、セット図、セットリストなど)
6	演習	企業プロジェクト⑤☑(イベント当日の運営)☐	運営マニュアル読み込み 各メンバーで打ち合わせ
7	演習	企業プロジェクト⑥(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ提出。企業への御礼文送信。
8	演習	自主企画①(班分け/アイディアフラッシュ)	A4 1枚に提案したいイベント内容をまとめて提出。
9	演習	自主企画②(コンセプト決め/企画書作成)	A4 で出演者向けに企画書を作成し提出。
10	演習	自主企画③(ブッキング/実施要綱/プロモーションプラン作成)	ブッキング用メール文の作成。プロモーション先リストを作成する。
11	演習	自主企画④(プロモーションツール/運営マニュアル作成)	印刷業者・グッズ製作会社調べ、運営マニュアルに必要な情報を集める(図面、セット図、セットリストなど)
12	演習	自主企画⑤(顔合わせ兼打ち合わせ)	各セクション問題無く進められるように懸念点や疑問点を洗い出しておく。
13	演習	自主企画⑥(運営シミュレーション)☐	備品が揃っているか確認し、足りないものは購入する。
14	演習	自主企画⑦(イベント当日の運営)	運営マニュアル読み込み 各メンバーで打ち合わせ
15	演習	自主企画⑧(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ、御礼文送信
準備学習　時間外学習		各イベントや課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

都度必要に応じて自作プリント配布

科目名	コンサートBasic1 （PA Basic1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新部有亮
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	90 6		
教員の略歴	株式会社フライアウト企画に属し、PAエンジニアとして活動している。実務歴12年。						
授業の学習内容	PAエンジニアとしての基本を身につける。業界用語、機材名称、基礎体力、安全管理を完全に理解する。						
到達目標	音の流れ、音の出し方を理解し、PAスタッフとしての基本的なノウハウと応用力を身につける。 スタッフ間のコミュニケーションをとることができ、現場に必要な知識と体力を1年間で身につける。						
評価方法と基準	実技試験にて評価 100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	自己紹介。職業理解を深める心構え。安全教育。機材取り扱い。マイクスタンド等の使用方法。	機材取り扱い、マイクスタンド等の使用方法について復習レポートを作成。
2	演習	簡易セット1回目。コネクター種類把握。簡易セットの機材把握。	コネクター種類、簡易セットの機材について復習レポートを作成。
3	演習	簡易セット2回目。簡易セット設営、撤去、チェックができるようになる。	簡易セット設営、撤去、チェックについて復習レポートを作成。
4	演習	簡易セット3回目。EQを追加。設営、撤去、チェックができるようになる。	EQについて復習レポートを作成。
5	演習	簡易セット4回目。EQ,マルチ追加。	マルチシステムについて復習レポートを作成。
6	演習	簡易セット5回目。ステージモニター、エフェクター追加。学園祭イベントを考える。	モニター、エフェクターについて復習レポートを作成。
7	演習	イベントにおけるPAシステムのプランニング。電気知識を活用する。	プランニング、電気知識について復習レポートを作成。
8	演習	簡易セット6回目。変化に対応できる柔軟性を身につける。	簡易セットについて学んだことをあらためて振り返り確認しておく。
9	演習	簡易セット7回目。チーム力を活用し、制限の中で結果を出す。	簡易セットについて学んだことをあらためて振り返り確認しておく。
10	演習	マルチウェイスピーカーについて。	マルチウェイスピーカーについて復習レポートを作成。
11	演習	ステージワーク1回目。イベント、体験入学を見越した内容。	ステージワークについて復習レポートを作成。
12	演習	明日への扉のスタッフとして参加し、仕込み、リハーサルをする。	イベントに向けて打合せ、リハーサル立会いなど準備をしっかり行ない、レポートを作成。
13	演習	明日への扉のスタッフとして参加し、本番、撤収作業をする。	イベントの本番、バラシなどをしっかり行ない、レポートを作成。
14	演習	ステージワーク2回目。イベント、体験入学を見越した内容。	ステージワークについて復習レポートを作成。
15	試験	テストを実施。	前期総まとめをレポート作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートやイベントに向けての準備、リハーサルを行う。	

【使用教科書・教材・参考書】　PA入門

科目名	コンサートBasic1 （照明Basic1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐々木 治郎
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明ライティング	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	大手照明会社に11年間勤務し、他方面の照明オペレートを経験。現在フリーランスの照明家として活動。実務歴26年。						
授業の学習内容	照明基礎の習得のため、前期は比較的講義の要素が多くなるが、現場で重要な”声を出してコミュニケーションをとる”など体や声を使う演習授業が中心になり、卒業後舞台人になるための基本所作も覚えていく。						
到達目標	学校にある基本の機材の名称、使い方を覚える。光の原理と舞台基礎用語、仕込みの方法、電気計算や安全など舞台人としての基礎全般を習得する						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	社会人になる心構え等の説明を交え、照明業務と現場で求められる人材像を知る	授業時に取ったメモを見返して理解を深める。
2	演習	学校にある代表的な器材の説明と仕組み、アクセサリーなどを理解する。	授業で学んだ内容について復習レポートを作成。
3	演習	電気基礎知識、容量計算などケーブル配線、仕様の違いを理解する	授業で学んだ内容について復習レポートを作成。
4	演習	パイプ回路を使っての回路とり擬似体験をす	授業で学んだ内容について復習レポートを作成。
5	演習	調光卓の基本的な使い方を理解する	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
6	演習	イベントに向けての準備作業を学ぶ	授業内容に即した課題をレポートとして提出する。
7	演習	パイプ回路を使っての回路とり擬似体験をす	授業で学んだ内容について復習レポートを作成。
8	演習	調光ユニットの説明と灯体の点灯原理を理解する	授業で学んだ内容について復習レポートを作成。
9	演習	復習とユニット表の作成方法を学ぶ	授業で学んだ内容について復習レポートを作成。
10	演習	信号からのLEDやムービングの解説、PINのQ出し、使い方を学ぶ	授業で学んだ内容について復習レポートを作成。
11	演習	前期まとめ、質疑応答	質問疑問をまとめてくる。
12	演習	「明日への扉」スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	演習	「明日への扉」スタッフとして参加し、舞台照明の演出を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	パイプ回路を使っての回路とり擬似体験をす	自身で答え合わせをし、分からなかった事について調べクリアにしておく。
15	試験	実技試験と筆記試験を行う。	自身で答え合わせをし、分からなかった事について調べクリアにしておく。
準備学習　時間外学習		授業で学んだ内容について復習レポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

ステージ舞台入門

科目名	コンサートBasic1 （ムービングBasic1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	橋本真也
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明ライティング	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	TSM卒業後、照明会社PACに就職し、現在はフリーランスの照明家として、ライブやコンサート、芝居、施設照明のプランニング、ムービングライトのオペレーターとして活躍。実務歴17年。						
授業の学習内容	現代のコンサートや舞台、その他様々なイベントに於ける照明演出で必須となったムービングライト。その特性と機能を学ぶことは、照明会社に就職する上でも非常に有利な条件となります。照明概論や照明BASICとも連動し、学校行事や企業プロジェクトイベント等でオペレートができるように、また将来的にエンターテイメント業界で活躍できる人材となれるよう指導していきます。						
到達目標	ムービングライトの仕込みが出来、基本的な操作から扱い方、メンテナンス、トラブル対応、ムービングライトでできる演出方法を身につけます。 ムービング卓グランドMAの操作方法を身につけ、簡単なシーンの作成、修正から実践でも対応できるようになります。 何度も触って、失敗して、機材に慣れることが大切だと考えます。						
評価方法と基準	定期試験（実技試験）にて評価 100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	授業の進め方、イベントホール使用方法、基本的なアクセスの仕方を学ぶ。	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
2	演習	ムービングライトの主な機能を知る。注意事項を知る。仕込み方法を学ぶ。	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
3	演習	簡単なシーンの作成。卓の主な用語、機能を学ぶ。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
4	演習	シーンの作成やバックアップの方法を学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
5	演習	シーケンスの扱い方。タイムの概念を理解する。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
6	演習	ムービング卓の基本的なセットアップ方法を学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
7	演習	シーケンスの理解を深める。トラッキングを理解する。	授業で学んだ内容を実際に機材に触れて復習する。
8	演習	小復習の時間。これまで学んできた内容を振り返り、もれなくしっかり理解することを目的とする。	復習として今までに学んだ内容に聞き逃しがないかを確認し、質問事項にしてまとめる。
9	演習	ムービングライトの基本的なセッティングを学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
10	演習	チェイスの作成、修正の仕方を学ぶ。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
11	演習	キューのリンク、ループについて学ぶ。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
12	演習	プリセットの作成、修正、使用方法を学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
13	試験	フェーダー、ボタンの機能変更について学ぶ。 ／2限目に試験を行う	試験にて出来なかった部分を復習する。
14	演習	「明日への扉」照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となるムービングの仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	演習	「明日への扉」照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となるムービングの仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
準備学習　時間外学習		基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートBasic1 （イベントスタッフワークBasic1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大島直子
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作＆ステージデザイナー、コンサート企画制作コース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	イベントやコンサートの制作・進行、事務局、発表会、企業物などオールジャンルの仕事をしています。実務歴17年。						
授業の学習内容	進級制作でもある「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」のイベントにおける制作業務を学び、報告書の作成を学ぶ。1年間の集大成のイベントを各学科・コースや合同日（葛西校）を連携しながら、進行及び制作業務を行う。						
到達目標	各学科・コースの枠を超えて、 イベントを新規で作り上げていく為のコミュニケーション能力を身につけることが出来る。 イベント本番の役割をシミュレーションし、事前準備の大切さや見やすい資料作成の基本を習得することが出来る。						
評価方法と基準	実技試験（イベントでの制作業務と作成された報告書を評価する。） 50% 資料作成のレポート提出を評価 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	「学園祭」「明日への扉」の概要を知り、舞台・制作・運営のチーム分け、演目担当分けを行う。各担当ごとに連絡先交換と各グループで挨拶をする。	今後1つのチームとして作業するため、授業以外でもコミュニケーションをとる意識を持つ。
2	演習	「学園祭の演目を理解する。「学園祭の昨年の資料確認する。	データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。
3	演習	舞台監督と制作の役割・内容を学ぶ。打合せ内容の共有をする。	授業内容について復習しレポートを作成。
4	演習	各演目担当チームごとに、担当教務に挨拶にいく。打合せ内容の共有をする。	イベント資料を管理し、チームで共有する環境を整えておく。
5	演習	各演目の現状確認（報告会）、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	※舞台・運営と合同ミーティング 情報共有をする。
6	演習	各演目の現状確認（報告会）、必要資料を作成する。制作チームごとにミーティングを行い、シーバーの使い方を学ぶ。	※舞台・運営と合同ミーティング 情報共有をする。
7	演習	「学園祭」の反省会、資料まとめを行う。「明日への扉」映像を見る。	イベント資料を管理し、次年度のために整理しておく。
8	演習	「明日への扉」結団式にて主旨、目的を理解する。	結団式内容をレポートにまとめる。
9	演習	「明日への扉」の舞台監督と制作の役割・内容説明と担当割り、スケジュール確認	資料作成。
10	演習	「明日への扉」現状確認（報告会）、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。稽古場のバミリを行う。	資料作成。
11	演習	「明日への扉」台本読み、ト書きを学ぶ。 外部リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。	資料作成。
12	演習	「明日への扉」の制作スタッフとして稽古に立会い、内容変更等情報共有する。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。
13	演習	「明日への扉」の舞台監督、制作スタッフとして本番を行う。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。
14	演習	「明日への扉」の終了報告書作成する。各演目・担当ごとに反省会・次回にむけての改善点を共有する。2年生から1年生への引き継ぎを行う。	終了報告書作成のための資料をまとめ
15	試験	振り返り試験を実施。	引き継ぎ事項をまとめておく。
準備学習　時間外学習		打合せや授業内容についての資料やレポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年の学園祭資料、明日への扉2018公演DVD、資料

科目名	コンサートBasic1 （舞台監督演習Basic1）	必修 選択	選択	年次	1 年	担当教員	北　英樹
学科・コース	舞台制作コース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年。						
授業の学習内容	舞台監督、舞台制作に関する基礎知識に関する講義及び実技						
到達目標	学内イベントや就職活動で必要となる舞台監督・制作業務の基礎的な知識とスキルを身につけることが出来る。						
評価方法と基準	1.実技試験（ 30% ） 2 .筆記試験 （ 70 % ）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	オリエンテーション 前期授業内容についての説明と舞台監督の概要を学ぶ。	舞台監督・制作に必要なものを準備しておく。
2	演習	舞台監督に関しての基礎知識 を学ぶ。	舞台監督について調べレポートを作成。
3	演習	舞台制作に関しての基礎知識を学ぶ。	舞台監督について調べレポートを作成。
4	演習	舞台監督の持物に関しての基礎を学ぶ。	舞台監督の持物について調べレポートを作成。
5	演習	学園祭に関しての基礎知識を学ぶ。	学園祭の内容について資料を確認しておく。
6	演習	舞台に関しての基礎知識を学ぶ。	舞台について復習レポートを作成。
7	演習	舞台制作に関しての基礎知識を学ぶ。	舞台制作に関して基礎知識1の復習をレポートにまとめる。
8	演習	舞台美術に関しての基礎知識を学ぶ。	舞台美術について復習レポートを作成。
9	演習	舞台制作としての演劇の基礎知識を学ぶ。	演劇について調べ、レポートを作成。
10	演習	舞台監督に関しての知識（応用編）を学ぶ。	舞台監督に関して基礎知識1の復習をまとめる。
11	演習	舞台制作としての演劇の台本分析する。	明日への扉の台本を読んでおく。
12	演習	明日への扉の舞台監督スタッフとして稽古立会いから仕込み、リハーサル進行を行う。	明日への扉現場について復習レポートを作成。
13	演習	明日への扉の舞台監督スタッフとして積込、搬入搬出、仕込み、本番進行、撤収作業の進行を行う。	明日への扉現場について終了報告書を作成。
14	演習	明日への扉の舞台監督について考察する。	次年度明日への扉に向けての資料整理。
15	演習	前期振り返りテストを実施する。	前期まとめのレポートを作成。
準備学習　時間外学習		準備学習：各授業のテーマを調べる。時間外学習：授業日の曜日に必ず復習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

学内に有る全ての機材の使用

科目名	コンサートBasic1 （楽器リペア1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石井正人
学科・コース	音楽テクノロジー科・楽器リペア＆テクニシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	90 6		
教員の略歴	TSMギタークラフトコース卒。2002年フジゲン（株）に入社し、リペアスタッフ長、店舗店長、国内営業所長などを歴任。2011年退社後、フリーランスのセットアッパーとして活動。「パーフェクト・ギター・セットアップ・メソッド」の著者。実務歴16年。						
授業の学習内容	エレキギターやエレキベース、アコースティックギターの基本的な構造や仕組みを理解し、メンテナンス・リペアに対する考え方や手法を学ぶ。そのための半田技術や工具の使い方も習得する。						
到達目標	エレキギター・エレキベース、アコースティックギターのメンテナンス＆リペアの基礎知識と技術を習得する。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	エレキギター・エレキベースの基本的な構造や仕組みを覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
2	演習	アコースティックギターなどの基本的な仕組みを覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
3	演習	エレキギターの基本的なメンテナンス手法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
4	演習	エレキベースの基本的なメンテナンス手法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
5	演習	アコースティックギターの基本的なメンテナンス手法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
6	演習	エレキギター・エレキベースの電気回路について、その基本的な仕組みを覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
7	演習	シールドケーブルの製作方法を身につけると共に、それに必要な半田技術を覚える	半田技術の復習をする。
8	演習	エレキギター・エレキベースのよく起こる電気回路のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
9	演習	ギター・ベースの弦に関わる各部のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
10	演習	ギター・ベースの弦に関わる各部のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
11	演習	アコースティックギターの弦に関わる各部のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
12	演習	明日への扉に参加し、劇中バンドの楽器メンテナンスを行う。	実際のメンテナンス業務の報告と気づいた点をまとめてレポート提出する。
13	演習	明日への扉に参加し、楽器スタッフとしての現場力やコミュニケーション力を養う。	イベント参加で気づいた点をまとめてレポート提出する。
14	演習	これまでに学んだ事を復習しながら、メンテナンスやリペアにおける基本的な考え方、アプローチを自身で考えられる様になる	※授業内に終わらなかった作業は時間外学習とす
15	試験	試験を実施する。	総まとめとしてのレポートを作成。
準備学習　時間外学習		準備学習として、毎回の授業において、良かった事や悪かった事を書き出し、反省、次への対策を練る事を習慣付ける	

【使用教科書・教材・参考書】

各種工具類

科目名	コンサートBasic1 （楽器リペアBasic1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石井正人
学科・コース	音楽テクノロジー科・楽器リペア＆テクニシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	TSMギタークラフトコース卒。2002年フジゲン（株）に入社し、リペアスタッフ長、店舗店長、国内営業所長などを歴任。2011年退社後、フリーランスのセットアッパーとして活動。「パーフェクト・ギター・セットアップ・メソッド」の著者。実務歴16年。						
授業の学習内容	エレキギターやエレキベース、アコースティックギターの基本的な構造や仕組みを理解し、メンテナンス・リペアに対する考え方や手法を学ぶ。そのための半田技術や工具の使い方も習得する。						
到達目標	エレキギター・エレキベース、アコースティックギターのメンテナンス＆リペアの基礎知識と技術を習得する。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	エレキギター・エレキベースの基本的な構造や仕組みを覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
2	演習	アコースティックギターなどの基本的な仕組みを覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
3	演習	エレキギターの基本的なメンテナンス手法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
4	演習	エレキベースの基本的なメンテナンス手法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
5	演習	アコースティックギターの基本的なメンテナンス手法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
6	演習	エレキギター・エレキベースの電気回路について、その基本的な仕組みを覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
7	演習	シールドケーブルの製作方法を身につけると共に、それに必要な半田技術を覚える	半田技術の復習をする。
8	演習	エレキギター・エレキベースのよく起こる電気回路のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
9	演習	ギター・ベースの弦に関わる各部のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
10	演習	ギター・ベースの弦に関わる各部のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
11	演習	アコースティックギターの弦に関わる各部のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
12	演習	明日への扉に参加し、劇中バンドの楽器メンテナンスを行う。	実際のメンテナンス業務の報告と気づいた点をまとめてレポート提出する。
13	演習	明日への扉に参加し、楽器スタッフとしての現場力やコミュニケーション力を養う。	イベント参加で気づいた点をまとめてレポート提出する。
14	演習	これまでに学んだ事を復習しながら、メンテナンスやリペアにおける基本的な考え方、アプローチを自身で考えられる様になる	※授業内に終わらなかった作業は時間外学習とす
15	試験	筆記試験。試験後は答え合わせを行う事で、更に理解度を深める。	試験で出来なかった箇所について見直し、理解できるようにする。
準備学習　時間外学習		準備学習として、毎回の授業において、良かった事や悪かった事を書き出し、反省、次への対策を練る事を習慣付ける	

【使用教科書・教材・参考書】

各種工具類

科目名	コンサートBasic1 （照明概論1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林之弘
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明ライティングコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	㈱六工房　代表取締役、日本照明家協会理事、日本照明家協会一級技能士。実務歴27年。						
授業の学習内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける。 ②現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	①前期中に予定されているミュージカル「明日への扉」で、仕込み、本番、撤去のサポートができる。 ②学校機材の名前と使い方がわかる						
評価方法と基準	筆記試験 ※ペーパーテストにて、仕込み、本番、撤去に必要な専門用語、機材知識の理解度を測定。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明を復習する。
2	演習	すぐに必要な専門用語/脚立の安全に使用できる	すぐに必要な専門用語/脚立の安全について復習レポートを作成。
3	演習	機材知識1　フラッドライト、スポットライトが理解できる	機材知識1　フラッドライト、スポットライトについて復習レポートを作成。
4	演習	機材知識2　プロファイルスポット、ノンレンズスポット、パーライトが理解できる	機材知識2　プロファイルスポット、ノンレンズスポット、パーライトについて復習レポートを作成。
5	演習	機材知識3　ムービングライト、効果機が理解できる	機材知識3　ムービングライト、効果機について復習レポートを作成。
6	演習	電球、フィルター、ゴボ、ケーブル知識①が理解できる	電球、フィルター、ゴボ、ケーブル知識①について復習レポートを作成。
7	演習	公演が行われる場の人たちが理解できる	公演が行われる場の人たちについて復習レポートを作成。
8	演習	舞台における照明の仕事が理解できる	舞台における照明の仕事について復習レポートを作成。
9	演習	照明実務1　ミュージカル公演に向けて・公演準備（持ち物:明日への扉上演台本)ができる	照明実務1　ミュージカル公演に向けて・公演準備について復習レポートを作成。
10	演習	照明実務2　仕込み図を読む/ミュージカル公演を題材に図面を読解できる	仕込み図について復習レポートを作成。
11	演習	照明実務3　ピンスポット・フォロー/ミュージカル公演を題材に基本動作ができる	ピンスポット・フォロー/ミュージカル公演について復習レポートを作成。
12	演習	「明日への扉」スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	演習	「明日への扉」スタッフとして参加し、舞台照明の演出を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	試験	前期まとめテスト	テストの振り返り。出来なかった部分の確認。
15	演習	前期のまとめを行い、明日への扉の各セクション報告書を作成する。	前期まとめの復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

iPad版　ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞

科目名	コンサートBasic2 （PA Basic2）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	新部有亮
		授業形態	演習	総時間（単位）	90 6		
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース						
教員の略歴	株式会社フライアウト企画に属し、PAエンジニアとして活動している。実務歴12年。						
授業の学習内容	PAエンジニアとしての基本を身につける。前期に引き続き、基礎的な技術を学ぶのは勿論のこと、授業内でもグループ作業の割合が増してゆくため、リーダーシップを身につけ自分で考える能力を養う。他者の意見を取り入れ、より良い作業効率を見つけ出してゆく。						
到達目標	コミュニケーション能力をさらに高めてゆく。アナログ機器だけでなくデジタル機器にも対応できる知識を身につけることが出来る。						
評価方法と基準	実技試験にて評価　100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	信号分岐。ハウスミキサー、モニターミキサーの頭分けを理解する。EFXやダイナミクス系を設営できるようにする。	信号分岐、EFXやダイナミクス系の設営について復習レポートを作成。
2	演習	設営実習①ハウス、モニター、ステージそれぞれに分かれて設営を学習する。	ハウス、モニター、ステージの設営について復習レポートを作成。
3	演習	設営実習②スピーカーチューニング(技法)について学習する。	スピーカーチューニング(技法)について復習レポートを作成。
4	演習	設営実習③作業の効率化を考えながら、少人数で設営できるようになる。	教室を使って少人数で設営できるように復習しておく。
5	演習	デジタル卓を理解する①LS-9,X-32などでデジタル卓の設定方法を理解する。	デジタル卓を理解するLS-9,X-32などでデジタル卓の設定方法について復習レポートを作成。
6	演習	アメリカのPAエンジニアの考え方を学び、日本との違いを知る。	授業内容について復習レポートを作成する。
7	演習	デジタル卓を理解する②	デジタル卓について復習レポートを作成。
8	演習	デジタル卓を理解する③	デジタル卓について復習レポートを作成。
9	演習	ライブ実習①　インストバンドのサウンドチェックを学習する	インストバンドのサウンドチェックについて復習レポートを作成。
10	演習	ライブ実習②　ヴォーカル&バンドのサウンドチェックを学習する。	ヴォーカル&バンドのサウンドチェックについて復習レポートを作成。
11	演習	ライブ本番実習①　ボーカル＆バンドのライブ本番を経験する。	ボーカル＆バンドのライブ本番について復習レポートを作成。
12	演習	卒業進級制作展のスタッフとして参加し、仕込み、リハーサルをする。	イベントに向けて打合せ、リハーサル立会いなど準備をしっかり行ない、レポートを作成。
13	演習	卒業進級制作展のスタッフとして参加し、本番、撤収作業をする。	イベントの本番、バラシなどをしっかり行ない、レポートを作成。
14	演習	ライブ本番実習②　ボーカル＆バンドのライブ本番を経験する。	ボーカル＆バンドのライブ本番について復習レポートを作成。
15	演習	復習テストを実施。	後期総まとめをレポート作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートやイベントに向けたプランを作成する。	

【使用教科書・教材・参考書】　PA入門

科目名	コンサートBasic2 （照明Basic2）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐々木 治郎
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明ライティング	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	大手照明会社に11年間勤務し、他方面の照明オペレートを経験。現在フリーランスの照明家として活動。実務歴26年。						
授業の学習内容	本格的に演習授業中心の内容で、仕込みバラシ、シュート明かり作りなど基礎となる現場の流れや現場に入る前の準備符割りデータ作りなどより実践に近いことを学び二年目に応用力を持てる人材になれる人間力を覚える。						
到達目標	前期の知識を応用し、次のステップへ。シュートの技術や効率のいい方法を考えたり照明プランニングする為の基礎知識を学び二年に上がる為の舞台人基礎力マスターを学ぶ。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	器材、ケーブル等のメンテナンスや機材の仕組みや工具の使い方を理解する	器材、ケーブル等のメンテナンスや機材の仕組みや工具の使い方について復習レポート作成
2	演習	明かりつくり①照明データの書き方作り方、用紙作成の書き方を学ぶ	明かりつくりについて復習レポートを作成。
3	演習	物の見え方、効果など光の基本を学ぶ	物の見え方、効果など光の基本について復習レポートを作成。
4	演習	フォーカス①の仕方を学ぶ	フォーカスの仕方について復習レポートを作成。
5	演習	フォーカス②の考え方を学ぶ	フォーカスの考え方について復習レポートを作成。
6	演習	シーン①意味や考え方テクニックを学ぶ	シーンの意味や考え方テクニックについて復習レポートを作成。
7	演習	シーン②仕込み図の考え方と方法論を学ぶ	仕込み図の考え方と方法論について復習レポートを作成。
8	演習	舞台照明効果の理解する	舞台照明効果について復習レポートを作成。
9	演習	明かり作り②データ用紙作成する	音源とデータ用紙の準備。
10	演習	明かり作り③前週のデータを実際に照明してみる	音源とデータ用紙の準備。
11	演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
12	演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明オペレートの実践と撤収作業を学ぶ。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明オペレートの実践と撤収作業を学ぶ。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	イベントの明かりを実際に作る	音源とデータ用紙の準備。
15	試験	復習試験	講義の振り返り
準備学習　時間外学習		授業内容についての復習レポートの作成、明かり作りの音源選曲とデータ用紙を準備する。	

【使用教科書・教材・参考書】

ステージ舞台入門

科目名	コンサートBasic2 （ムービングBasic2）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	橋本真也
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明ライティング	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	TSM卒業後、照明会社PACに就職し、現在はフリーランスの照明家として、ライブやコンサート、芝居、施設照明のプランニング、ムービングライトのオペレーターとして活躍。実務歴17年。						
授業の学習内容	現代のコンサートや舞台、その他様々なイベントに於ける照明演出で必須となったムービングライト。その特性と機能を学ぶことは、照明会社に就職する上でも非常に有利な条件となります。照明概論や照明BASICとも連動し、学校行事や企業プロジェクトイベント等でオペレートができるように、また将来的にエンターテイメント業界で活躍できる人材となれるよう指導していきます。						
到達目標	ムービングライトの仕込みが出来、基本的な操作から扱い方、メンテナンス、トラブル対応、ムービングライトでできる演出方法を身につけます。 ムービング卓グランドMAの操作方法を身につけ、簡単なシーンの作成、修正から実践でも対応できるようになります。 何度も触って、失敗して、機材に慣れることが大切だと考えます。						
評価方法と基準	定期試験（実技試験）にて評価。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	パッチの仕方についての基本を学ぶ。	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
2	演習	様々なエフェクトの知識と基本操作を学ぶ。	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
3	演習	様々なエフェクトの知識と基本操作を学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
4	演習	仕込みに関して、あらためて理解を深める。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
5	演習	調光卓エヴォライト社のパールやアリーナでのムービングライト操作方法を学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
6	演習	ムービング卓GrandMA1,2onPC操作方法を学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
7	演習	ムービング卓GrandMA3Dについて学び理解する。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
8	演習	小復習をする。	復習として今までに学んだ内容に聞き逃しがないかを確認し、質問事項にしてまとめる。
9	演習	VIEW作成方法について学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
10	演習	シーケンスの設定関連について学ぶ。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
11	演習	マトリックス、クイッキーを詳しく理解する。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
12	演習	進級制作展照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となるムービングの仕込み、扱い方、プランニング、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	演習	卒業制作展照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となるムービングの仕込み、扱い方、プランニング、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	明かり作りの練習をする。	ディスカッションを行ない、互いの感想、意見からの学びを得る。
15	試験	明かり作り練習／後期復習試験を実施する。	ディスカッションを行ない、互いの感想、意見からの学びを得る。
準備学習　時間外学習		基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートBasic2 （イベントスタッフワークBasic2）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大島直子
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作＆ステージデザイナー、コンサート企画制作コース	授業形態	演習	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	イベントやコンサートの制作・進行、事務局、発表会、企業物などオールジャンルの仕事をしています。実務歴17年。						
授業の学習内容	2年生は卒業制作であり、「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」のイベントにおける制作業務を学び、報告書の作成を学ぶ。1年間の集大成のイベントを各学科・コースや合同日（葛西校）を連携しながら、進行及び制作業務を行う。						
到達目標	各学科・コースの枠を超えて、 イベントを新規で作り上げていく為のコミュニケーション能力を身につけることが出来る。 イベント本番の役割をシミュレーションし、事前準備の大切さや見やすい資料作成の基本を習得することが出来る。						
評価方法と基準	実技試験（イベントでの制作業務と作成された報告書を評価する。） 50% 資料作成のレポート提出を評価 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の概要説明、舞台・制作・運営のチーム分け、演目担当分け、各担当ごとに連絡先交換と各グループで挨拶を行う。	今後1つのチームとして作業するため、授業以外でもコミュニケーションをとる意識を持つ。
2	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の演目について理解する。	授業内容について復習しレポートを作成。
3	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認し、内容を把握する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。
4	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認と舞台監督と制作の役割・内容を理解する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。
5	演習	各演目担当チームごとに、担当教務に挨拶にいく。	イベント資料を管理し、チームで共有する環境を整えておく。
6	演習	各演目の現状確認（報告会）、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	申し送り事項について復習しレポートを
7	演習	各演目の現状確認（報告会）、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	※舞台・運営と合同ミーティング 情報共有をする。
8	演習	各演目の現状確認（報告会）、必要資料を作成する 制作チームごとにミーティングとシーバーの使い方を学ぶ。※資料の締め切り確認 ※葛西制作と顔合わせ	授業内容について復習しておく。
9	演習	各演目の現状確認（報告会）、必要資料を作成する。 リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。
10	演習	各演目の現状確認（報告会）、必要資料を作成する。 リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。
11	演習	各演目の現状確認（報告会）、必要資料を作成する。 リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。
12	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。
13	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。
14	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の終了報告書作成。 各演目・担当ごとに反省会・次回にむけての改善点を共有する。2年生から1年生への引き継ぎを行う①。	終了報告書作成のための資料をまとめ
15	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の 今年の映像確認し、振り返りを行う。2年生から1年生への引き継ぎ資料の作成を行う②。	引き継ぎ事項をまとめておく。
準備学習 時間外学習		打合せや授業内容についての資料やレポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年のweare公演DVD/学内PC(4F)/昨年の資料（2年生）

科目名	コンサートBasic2 （舞台監督演習Basic2）	必修 選択	選択	年次	1 年	担当教員	北　英樹
学科・コース	舞台制作コース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年。						
授業の学習内容	舞台制作に関する 基礎知識 についての 講義 及び 実技						
到達目標	舞台制作に関してしての 基礎知識 の 理解						
評価方法と基準	1. 実技試験（ 30% ） 2 .筆記試験（ 70% ）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	舞台制作に関しての応用を学ぶ	舞台制作の授業の復習レポートを確認しておく。
2	演習	舞台機構に関しての復習をする。	舞台機構について復習レポートを確認しておく。
3	演習	舞台監督に関しての復習をする。	舞台監督について復習レポートを確認しておく。
4	演習	演劇に関しての応用知識を学ぶ。	演劇について調べ、レポートを作成。
5	演習	舞台制作の作成する資料について学ぶ。	作成した資料の復習をする。
6	演習	アメリカのエンターテイメントにおける舞台監督についてを学ぶ	授業内容について復習レポートの作成。
7	演習	シルク・ドゥ・ソレイユのステージディレクターの役割についてを学ぶ	授業内容について復習レポートの作成。
8	演習	楽器に関しての復習をする。	楽器知識授業の復習レポートを作成。
9	演習	進級展の舞台制作について学ぶ。	進級制作展の内容を把握しておく。
10	演習	We are TSM渋谷に関しての基礎知識を学ぶ。	We are TSM渋谷とは何か 調べる
11	演習	We are TSM渋谷の舞台制作を学ぶ。	We are TSM渋谷の舞台制作に関して調べる
12	演習	We are TSM渋谷にスタッフとして参加する。	打合せ、リハーサル立会い、資料の作成。
13	演習	We are TSM渋谷にスタッフとして参加する。	撤収作業から現状復帰までを行なう。
14	演習	We are TSM渋谷の終了報告資料をまとめる。	次年度に向けての資料修正をする。
15	試験	復習試験の実施。	後期のまとめをレポート作成する。
準備学習　時間外学習		準備学習：各授業のテーマを調べる。時間外学習：授業日の曜日に必ず復習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

学内に有る全ての機材の使用

科目名	コンサートBasic2 （楽器リペア2）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	石井正人
学科・コース	音楽テクノロジー科・楽器リペア＆テクニシャンコース	授業形態	演習	総時間（単位）	90 6		

教員の略歴	TSMギタークラフトコース卒。2002年フジゲン（株）に入社し、リペアスタッフ長、店舗店長、国内営業所長などを歴任。2011年退社後、フリーランスのセットアッパーとして活動。「パーフェクト・ギター・セットアップ・メソッド」の著者。実務歴16年。
授業の学習内容	エレキギターやエレキベース、アコースティックギターの基本的な構造や仕組みを理解し、メーカーによる楽器の特徴を理解してメンテナンス・リペアに対する考え方や手法を学ぶ。さらにはエフェクターについても同様に構造や仕組みを理解し、楽器リペアの総合的な技術と知識を学ぶ。
到達目標	エレキギター・エレキベース、アコースティックギターのメンテナンス＆リペアの基礎知識と技術を習得する。
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	ピックアップの交換方法と、ピックアップによるサウンドの変化を理解する	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
2	演習	Fender系ギター・ベースのナットの交換方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
3	演習	Gibson系・アコースティックギターのナット交換方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
4	演習	ボルトオンネックギター・ベースのフレットの擦り合わせの手順、方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
5	演習	セットネックギター・ベースのフレットの擦り合わせの手順、方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
6	演習	エフェクターの基本的な構造を知り、製作技術を身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
7	演習	エフェクターの基本的な構造を知り、製作技術を身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
8	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
9	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
10	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
11	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
12	演習	明日への扉に参加し、劇中バンドの楽器メンテナンスを行う。	実際のメンテナンス業務の報告と気づいた点をまとめてレポート提出する。
13	演習	明日への扉に参加し、楽器スタッフとしての現場力やコミュニケーション力を養う。	イベント参加で気づいた点をまとめてレポート提出する。
14	演習	これまでに学んだ事を復習しながら、メンテナンスやリペアにおける総合的な考え方、アプローチを自身で考えられる様になる	※授業内に終わらなかった作業は時間外学習とす
15	試験	セットアップアレンジの実習　前回授業をテスト形式で行い、その仕上がり具合や理解度を見る	総まとめとしてのレポートを作成。
準備学習　時間外学習		準備学習として、毎回の授業において、良かった事や悪かった事を書き出し、反省、次への対策を練る事を習慣付ける	

【使用教科書・教材・参考書】

各種工具類

科目名	コンサートBasic2 （楽器リペアBasic2）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石井正人
学科・コース	音楽テクノロジー科・楽器リペア＆テクニシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	TSMギタークラフトコース卒。2002年フジゲン（株）に入社し、リペアスタッフ長、店舗店長、国内営業所長などを歴任。2011年退社後、フリーランスのセットアッパーとして活動。「パーフェクト・ギター・セットアップ・メソッド」の著者。実務歴16年。						
授業の学習内容	エレキギターやエレキベース、アコースティックギターの基本的な構造や仕組みを理解し、メーカーによる楽器の特徴を理解してメンテナンス・リペアに対する考え方や手法を学ぶ。さらにはエフェクターについても同様に構造や仕組みを理解し、楽器リペアの総合的な技術と知識を学ぶ。						
到達目標	エレキギター・エレキベース、アコースティックギターのメンテナンス＆リペアの基礎知識と技術を習得する。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	ピックアップの交換方法と、ピックアップによるサウンドの変化を理解する	
2	演習	Fender系ギター・ベースのナットの交換方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
3	演習	Gibson系・アコースティックギターのナット交換方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
4	演習	ボルトオンネックギター・ベースのフレットの擦り合わせの手順、方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
5	演習	セットネックギター・ベースのフレットの擦り合わせの手順、方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
6	演習	エフェクターの基本的な構造を知り、製作技術を身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
7	演習	エフェクターの基本的な構造を知り、製作技術を身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
8	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
9	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
10	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
11	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
12	演習	これまでに学んだ事を復習しながら、メンテナンスやリペアにおける総合的な考え方、アプローチを自身で考えられる様になる	※授業内に終わらなかった作業は時間外学習と
13	演習	卒業制作展に参加し、出演バンドの楽器メンテナンスを行う。	実際のメンテナンス作業の報告と気づいた点をまとめてレポート提出する。
14	演習	卒業制作展に参加し、楽器スタッフとしての現場力やコミュニケーション力を養う。	イベント参加で気づいた点をまとめてレポート提出する。
15	試験	筆記試験と実技試験を実施。 試験後は答え合わせを行う事で、更に理解度を深める。	試験後は答え合わせを行う事で、更に理解度を深める。
準備学習　時間外学習		準備学習として、毎回の授業において、良かった事や悪かった事を書き出し、反省、次への対策を練る事を習慣付ける。	

【使用教科書・教材・参考書】

各種工具類

科目名	コンサートテクニック1 （PAワークショップ1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	東徹郎 松本義正
学科・コース	音楽テクノロジー科 PAエンジニアコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 8		
教員の略歴	東：エムテック所属のPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等を手掛ける。実務歴34年。 松本：フリーランスのPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等をてがける。実務歴30年。						
授業の学習内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 打合せ、プランニング、仕込み、リハーサル、サウンドチェック、本番、バラシの一連の流れを実際のイベントを通して学び、経験とする。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に同セクション内の人間関係をも構築する。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者などとの良好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	顔合わせ自己紹介、機材の持ち方と安全管理について学ぶ。	機材の持ち方と安全管理について復習レポートを作成。
2	演習	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方を学ぶ。	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方について復習レポートを作成。
3	演習	PA仕込みの練習を行なう。	PA仕込みについて復習レポートを作成。
4	演習	仕込み練習・学園祭セクション決めを行なう。	学園祭セクションで打合せを行なう。
5	演習	仕込み練習・学園祭プランを立てる。	学園祭プランを立てるための打合せや稽古立会い等を行なう。
6	演習	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。
7	演習	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。
8	演習	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。
9	演習	仕込み練習/DVSを学ぶ。	仕込み練習/DVSを学ぶ。
10	演習	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マナー等を学ぶ。	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マナー等を学ぶ。
11	演習	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。
12	演習	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。
13	演習	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14	演習	明日への扉スタッフとして参加し、本番、ばらしを行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、本番、ばらしを行なう。
15	試験	筆記試験と実技試験	筆記試験と実技試験
準備学習　時間外学習		授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック1 （照明ワークショップ1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐々木治郎 鈴木昌広
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明スタッフ、照明ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ	授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 8		
教員の略歴	佐々木：大手照明会社に11年間勤務し、他方面の照明オペレートを経験。現在フリーランスの照明家として活動。実務歴26年。 鈴木：フリーランスの照明家として、コンサートやイベントで活動。実務歴25年。						
授業の学習内容	舞台照明の仕事をするにあたり、基礎を踏まえた内容の授業をメインとする。現場で求められる人間性、技術力、行動力などの人材育成を目的とした実習として、ベーシック、アドバンスを活かした現場総合力を身につけるための授業。実習を繰り返すことで現場で求められる基礎知識と動きなどを覚え即戦力になる人材を育成する。						
到達目標	照明基礎のベーシック、アドバンスを活かしたより実践的な技術の習得と学年を超えた照明スタッフとしてのコミュニケーション力を学び、より現場らしい業務内容の体験の中で社会人になる意識を持たせる。メンテナンスを通じて器材の仕組みや工具の使い方を学ぶ。仕込みバラシと明かり作り作業の反復練習で照明効果の理解をする。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	火曜の授業の確認や学校イベントなどの把握と協調関係の大事さなどを学ぶ。	授業時に取ったメモを見返して理解を深める。
2	演習	教室機材の器材を覚える。	授業で学んだ内容を復習する。
3	演習	実際に明かりを出しながら基本明かりの解説をし、理解する。	授業で学んだ内容を復習する。
4	演習	光と影が表わす印象と表現を理解する。	授業で学んだ内容を復習する。
5	演習	光の方向性や色から受けるイメージを感じる。	様々なイメージを日常や映像を通して膨らませる。
6	演習	テーマに沿った明かりを表現してみる。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
7	演習	電気基礎の理解をする。	授業内容に即した課題をレポートとして提出する。
8	演習	調光信号とユニットの理解をする。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
9	演習	仕込み図を作成する。	授業で学んだ内容を復習する。
10	演習	仕込みバラシをしてみる。	前週の仕込み図を完成させる。
11	演習	前期を終えるにあたり質問復習をする。	質問疑問をまとめてくる。
12	演習	イベントに向けての事前準備をする。	台本や資料に目を通しておく。
13	演習	「明日への扉」照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	「明日への扉」照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	試験	実技試験と筆記試験を行う。	自身で答え合わせをし、分からなかった事について調べクリアにしておく。
準備学習　時間外学習		常に帰ってからの復習と理解を深め、実習や現場での動きに活かせるようにする。	

【使用教科書・教材・参考書】

ステージ舞台入門

科目名	コンサートテクニック1 （舞台制作ワークショップ1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	90 6		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督を担当。実務歴25年。						
授業の学習内容	テキストを中心に舞台の基礎を学び、アイドルイベントやお笑いイベント、学園祭、明日への扉公演の舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。						
到達目標	●知識と基に、作業工程や操作法を身につけることが出来る。 ●舞台全体を把握できる能力を身に付けることが出来る。 ●座学と実習を繰り返して、舞台監督としての成長を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	前期講義と舞台制作についての概要説明のオリエンテーションを行う。	自己紹介内容の準備をする。
2	演習	基本用語（舞台用語）を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
3	演習	基本用語（舞台セット）を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
4	演習	基本用語（舞台進行）を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
5	演習	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
6	演習	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料の整理をする。
7	演習	基本用語（各セクション）を学ぶ。	実習準備
8	演習	舞台備品（箱馬・平台）について理解する	実習準備
9	演習	舞台備品（幕）について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
10	演習	舞台備品（ステージ設営）について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
11	演習	舞台備品（大道具部材）について理解する。	授業内容を復習しレポートを作成。
12	演習	舞台備品（繋ぐ・切る・結ぶ）について理解す	授業内容を復習しレポートを作成。
13	演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
14	演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	撤収作業から現状復帰までを行なう。
15	試験	前期まとめと復習試験を実施する。	前期のまとめを復習しレポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	

【使用教科書・教材・参考書】

スタッフ赤本・コース教材（メジャー・手袋・カッター）

科目名	コンサートテクニック1 （楽器テクニシャンワークショップ1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	水見博
学科・コース	音楽テクノロジー科楽器ﾘﾍﾟｱ&ﾃｸﾆｼｬﾝｺｰｽ	授業 形態	演習	総時間 （単位）	90 6		
教員の略歴	株式会社チームアクティブにて楽器テクニシャン、舞台監督として活動。実務歴26年。						
授業の学習内容	楽器テクニシャンとして基礎、機材メンテナンス、現場における所作まで実習を伴い学習する。 ドラムセットのセッティング、ギター、ベース、アンプなどの扱い方、電源の取り方、サウンドメイキングなどを学び、アーティストとの関わり方やマナーも身につけて即戦力を養う。						
到達目標	楽器テクニシャンとして　学内でのライブイベント等の現場を経験し、対応力、コミュニケーション、機材メンテナンスなどの技術を身につけることで、楽器テクニシャンとしての職業選択を持たせ、アーティストから必要とされる知識、技術を身につけることが出来る。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	前期講義と楽器テクニシャンについての概要説明のオリエンテーションを行	スケジュールの調整と必要な道具、備品を揃える。
2	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（1）	メンテナンス機材の選定をする。
3	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（2）	メンテナンス機材の復旧確認をする。
4	演習	学内イベントに向けて考査、考察（1）	イベント実施内容資料収集
5	演習	学内イベントで現場に必要な知識と技術を学ぶ。	実施イベント資料の復習
6	演習	学園祭楽器テクニシャン業務について考査する。	実施イベント資料に基づいての考察
7	演習	学園祭反省会と終了報告書作成する。	実施イベント資料に基づいての考察
8	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（3）	メンテナンス機材の選定
9	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（4）	メンテナンス機材の復旧確認
10	演習	ミュージカル明日への扉について考察する。	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察
11	演習	校内機材への深認識、再確認をし共有する。	校内機材の使用方向考察
12	演習	学内イベントに向けて考査、考察（2）	イベント実施内容の収集と資料作成。
13	演習	明日への扉で楽器テクニシャンスタッフの実践経験を積む。	明日への扉の資料作成と反省点をまとめる。
14	演習	明日への扉で楽器テクニシャンスタッフの実践経験を積む。	明日への扉の資料作成と反省点をまとめる。
15	試験	復習テスト	前期のまとめをレポート作成する。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポート、イベントの打合せ、資料の作成をおこなう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック2 （PAワークショップ2）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	東徹郎 松本義正
学科・コース	音楽テクノロジー科 PAエンジニアコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 8		
教員の略歴	東：エムテック所属のPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等を手掛ける。実務歴34年。 松本：フリーランスのPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等をてがける。実務歴30年。						
授業の学習内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 進級制作展、卒業制作展を成功に導くためのプランニングやオペレーションを学ぶ。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に同セクション内の人間関係をも構築することが出来る。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者などとの良好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	仕込練習/LS9の操作方法を修得する。	LS9の操作方法について復習レポートを作成。
2	演習	仕込練習/X32の操作方法を修得する。	X32の操作方法について復習レポートを作成。
3	演習	仕込練習/QL5の操作方法を修得する。	QL5の操作方法について復習レポートを作成。
4	演習	仕込練習/CL5の操作方法を修得する。	CL5の操作方法について復習レポートを作成。
5	演習	仕込練習/SD8の操作方法を修得する。	SD8の操作方法について復習レポートを作成。
6	演習	外部ホール実習④外部ホールでのアコギ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのアコギ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
7	演習	外部ホール実習④外部ホールでのピアノ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのピアノ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
8	演習	ホール実習③外部ホールでのバンドライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのバンドライブについて復習レポートを作成。
9	演習	We are TSM渋谷のセクション決めを行ない、打合せをする。	セクションごとの打合せ内容をまとめ資料を作成する。
10	演習	We are TSM渋谷打合せ、プランニングをする。	We are TSM渋谷プランの整理をする。
11	演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。（1）	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
12	演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。（2）	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
13	演習	We are TSM渋谷に参加し、プランニング、リハーサル立会い、資料作成を行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14	演習	We are TSM渋谷に参加し、積込、搬入搬出、仕込みから本番、バラシまで行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、本番、ばらしを行なう。
15	試験	We are反省会、アーカイブ作成を行う。	筆記試験と実技試験
準備学習　時間外学習		授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック2 （照明ワークショップ2）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐々木治郎 鈴木昌広
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明スタッフ、照明ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ	授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 8		
教員の略歴	佐々木：大手照明会社に11年間勤務し、他方面の照明オペレートを経験。現在フリーランスの照明家として活動。実務歴26年。 鈴木：フリーランスの照明家として、コンサートやイベントで活動。実務歴25年。						
授業の学習内容	舞台照明の仕事をするにあたり基礎を踏まえた内容の授業をメインとし現場で求められる人間性、技術力、行動力などの人材育成を目的とした実習としベーシック、アドバンスを活かした現場総合力を身につけるための授業。実習を繰り返すことで現場で求められる基礎知識と動きなどを覚え即戦力になる人材を育成する。						
到達目標	照明基礎のベーシック、アドバンスを活かしたより実践的な技術の習得と学年を超えた照明スタッフとしてのコミュニケーション力を学び、より現場らしい業務内容の体験の中で社会人になる意識を持つことができる。 メンテナンスを通じて器材の仕組みや工具の使い方を学ぶ。仕込みバラシと明かり作り作業の反復練習で照明効果の理解を深める。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
2	演習	照明においてのメンテナンス技術を身につける	工具を持ってくる準備
3	演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
4	演習	内容考察や符割りプランニングなどの理解する	資料
5	演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
6	演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
7	演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
8	演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
9	演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表
10	演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
11	演習	卒業公演に向けての机上準備を学ぶ	各種資料
12	演習	後期まとめとして質問や復習	教科書ノートなどのおさらい
13	演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	試験	実技試験と筆記試験を行う。	自身で答え合わせをし、分からなかった事について調べクリアにしておく。
準備学習　時間外学習		常に帰ってからの復習と理解を深め、実習や現場での動きに活かせるようにする。	

【使用教科書・教材・参考書】

ステージ舞台入門

科目名	コンサートテクニック2 （舞台制作ワークショップ2）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	90 6		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督を担当。実務歴25年。						
授業の学習内容	アイドルイベントやお笑いイベント等を通して舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。 また、実習にて舞台機構を操作し習得する。 卒業進級制作展に向けての打合せや作業を行なう。						
到達目標	舞台公演に必要な知識・使用操作方技術を身につけ、公演の進行を自分自身で行えるようになる。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	前期授業の振り返りと後期講義のオリエンテーションを行う。	PC操作・スタッフ赤本の復習
2	演習	卒業進級制作展開催役割分担を行い、組織体制作りを学ぶ。	授業内容の整理。
3	演習	地絣り・カーペットを敷くスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
4	演習	幕を吊る・道具を飾るスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
5	演習	コンサートホールを理解し、舞台セットを考察する。	授業内容の復習、資料のまとめをレポートとして作成。
6	演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
7	演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
8	演習	卒業進級制作展の制作スケジュールを管理し、演出内容について考察する。	打合せ、資料作成。
9	演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う①。	打合せ、資料作成し、仕込み作業を行う
10	演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う②。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
11	演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う③。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
12	演習	進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う④。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
13	演習	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う⑤。	打合せ、リハーサル立会い、資料の作成。
14	演習	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う⑥。	撤収作業から現状復帰までを行なう。
15	試験	復習試験を実施する。	復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	

【使用教科書・教材・参考書】

スタッフ赤本

科目名	コンサートテクニック2 （楽器テクニシャンワークショップ2）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	水見博
学科・コース	音楽テクノロジー科楽器ﾘﾍﾟｱ&ﾃｸﾆｼｬﾝｺｰｽ	授業 形態	演習	総時間 （単位）	90 6		
教員の略歴	株式会社チームアクティブにて楽器テクニシャン、舞台監督として活動。実務歴26年。						
授業の学習内容	楽器テクニシャンとして基礎、機材メンテナンス、現場における所作まで実習を伴い学習する。 ドラムセットのセッティング、ギター、ベース、アンプなどの扱い方、電源の取り方、サウンドメイキングなどを学び、アーティストとの関わり方やマナーも身につけて即戦力を養う。						
到達目標	楽器テクニシャンとして　学内でのライブイベント等の現場を経験し、対応力、コミュニケーション、機材メンテナンスなどの技術を身につけることが出来る、楽器テクニシャンとしての職業選択を持たせ、アーティストから必要とされる知識、技術を身につける。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	前期講義と楽器テクニシャンについての概要説明のオリエンテーションを行	スケジュールの調整と必要な道具、備品を揃える。
2	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（5）	メンテナンス機材の選定をする。
3	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（6）	メンテナンス機材の復旧を確認しておく。
4	演習	学内イベントに向けて考査、考察（3）	イベント実施内容資料を収集する。
5	演習	学内イベントに向けて考査、考察（4）	イベント実施内容資料を収集する。
6	演習	学内イベントに向けて考査、考察（5）	イベント実施内容資料を収集する。
7	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（7）	メンテナンス機材の選定をする。
8	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（8）	メンテナンス機材の復旧を確認しておく。
9	演習	WE ARE TSM渋谷への考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察
10	演習	WE ARE TSM渋谷リハーサルの準備、考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察
11	演習	WE ARE TSM渋谷リハーサルの準備、考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察
12	演習	WE ARE TSM渋谷外部ホールリハーサルの準備、考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察
13	演習	WE ARE TSM渋谷のスタッフとして現場実習を行う。	WE ARE TSM渋谷の打合せ、資料作成。
14	演習	WE ARE TSM渋谷のスタッフとして現場実習を行う。	WE ARE TSM渋谷終了報告書を作成する。
15	試験	復習試験	後期のまとめを作成する。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習と各種イベントの打合せ、資料作成をする。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	舞台機構調整士1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	一級舞台機構調整技能士。株式会社ヴァーゴ設立。2010年より(株)サンフォニックス入社。実務歴41年。						
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	講師紹介、他人紹介、授業の進め方、教科書についての説明。ケーブル巻きを学ぶ。	シラバス、教科書、確認しておく事。
2	講義	ケーブル、マイクスタンド、ホルダー、マイクについての知識を学ぶ。	ケーブル、マイクスタンド、ホルダー、マイクについて復習レポートを作成。
3	講義	スピーカー、スピーカースタンドについての知識を学ぶ。	スピーカー、スピーカースタンドについて復習レポートを作成。
4	講義	ブロックダイヤグラム、ミキシングコンソール、パワーアンプについての知識を学ぶ。	ブロックダイヤグラム、ミキシングコンソール、パワーアンプについて復習レポートを作成。
5	講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその1について復習レポートを作成。
6	講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその2について復習レポートを作成。
7	講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその3について復習レポートを作成。
8	講義	簡易PAセットにCDを接続し、AUXの使い方とリバーブの接続を学ぶ。	CD接続、AUX,リバーブについて復習レポートを作成。
9	講義	上記のセットにさらにGEQを接続する方法を身につける。	GEQ接続について復習レポートを作成。
10	講義	上記にさらにモニタースピーカーを接続する方法を身につける。	モニタースピーカー接続について復習レポートを作成。
11	講義	上記全セットの組み上げと調整の仕方を身につける。	上記セットを各自組み上げ、調整1について復習レポートを作成。
12	講義	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	講義	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プランを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	PA簡易セット～モニタースピーカー接続までの全工程の組み上げと調整の仕方について反復練習する。	上記セットを各自組み上げ、調整2について復習レポートを作成。
15	試験	復習期末試験（筆記、実技）	前期の復習、期末試験の準備
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級

科目名	舞台機構調整士2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	一級舞台機構調整技能士。株式会社ヴァーゴ設立。2010年より(株)サンフォニックス入社。実務歴41年。						
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	音について～音はなぜ聞こえるのか～を学ぶ。	音について、音はなぜ聞こえるのか、について復習レポートを作成。
2	講義	音波の伝播や音場、音速について理解する。	音波の伝播 音場 音速 、について復習レポートを作成。
3	講義	周波数、可聴限界周波数、波長、振幅について理解する。	周波数 可聴限界周波数 波長 振幅、について復習レポートを作成。
4	講義	音色、オームヘルムホルツの法則、音波の性質について理解する。	音色 オームヘルムホルツの法則 音波の性質1、について復習レポートを作成。
5	講義	音波の性質2、音圧、音圧レベル、音量について理解する。	音波の性質2 音圧 音圧レベル 音量、について復習レポートを作成。
6	講義	騒音、NC値、音響心理1について学ぶ。	騒音 NC値 音響心理1、について復習レポートを作成。
7	講義	音響心理2について学ぶ。	音響心理2、について復習レポートを作成。
8	講義	電気の基礎1について学ぶ。	電気の基礎1、について復習レポートを作成。
9	講義	電気の基礎2 アース ノイズについて学ぶ。	電気の基礎2 アース ノイズ、について復習レポートを作成。
10	講義	電気音響機器1について学ぶ。	電気音響機器1、について復習レポートを作成。
11	講義	電気音響機器2について学ぶ。	電気音響機器2、について復習レポートを作成。
12	講義	電気音響機器3について学ぶ。	電気音響機器3、について復習レポートを作成。
13	講義	進級制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	進級制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	試験	期末復習試験（筆記、実技）	後期の復習、期末試験の準備
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級

科目名	音響電気知識1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
学科・コース	音楽テクノロジー・PAエンジニアコース						

教員の略歴	一級舞台機構調整技能士。株式会社ヴァーゴ設立。2010年より(株)サンフォニックス入社。実務歴41年。
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整を学ぶ。
到達目標	簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	講師紹介、他人紹介、授業の進め方、教科書についての説明。ケーブル巻きを学ぶ。	シラバス、教科書、確認しておく事。
2	講義	ケーブル、マイクスタンド、ホルダー、マイクについての知識を学ぶ。	ケーブル、マイクスタンド、ホルダー、マイクについて復習レポートを作成。
3	講義	スピーカー、スピーカースタンドについての知識を学ぶ。	スピーカー、スピーカースタンドについて復習レポートを作成。
4	講義	ブロックダイヤグラム、ミキシングコンソール、パワーアンプについての知識を学ぶ。	ブロックダイヤグラム、ミキシングコンソール、パワーアンプについて復習レポートを作成。
5	講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその1について復習レポートを作成。
6	講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその2について復習レポートを作成。
7	講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその3について復習レポートを作成。
8	講義	簡易PAセットにCDを接続し、AUXの使い方とリバーブの接続を学ぶ。	上記にCD接続、AUX、リバーブについて復習レポートを作成。
9	講義	上記のセットにさらにGEQを接続する方法を身につける。	上記にGEQ接続について復習レポートを作成。
10	講義	上記にさらにモニタースピーカーを接続する方法を身につける。	上記にモニタースピーカー接続について復習レポートを作成。
11	講義	上記全セットの組み上げと調整の仕方を身につける。	上記セットを各自組み上げ、調整1について復習レポートを作成。
12	講義	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、仕込み、バラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	講義	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、仕込み、バラシ、プランを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	上記セットを各自組み上げ、調整2	上記セットを各自組み上げ、調整2について復習レポートを作成。
15	試験	期末復習試験（筆記、実技）	前期の復習、期末試験の準備
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級

科目名	音響電気知識2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
学科・コース	音楽テクノロジー・PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	一級舞台機構調整技能士。株式会社ヴァーゴ設立。2010年より(株)サンフォニックス入社。実務歴41年。						
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	音について～音はなぜ聞こえるのか～を学ぶ。	音について、音はなぜ聞こえるのか、について復習レポートを作成。
2	講義	音波の伝播や音場、音速について理解する。	音波の伝播、音場、音速について復習レポートを作成。
3	講義	周波数、可聴限界周波数、波長、振幅について理解する。	周波数、可聴限界周波数、波長、振幅について復習レポートを作成。
4	講義	音色、オームヘルムホルツの法則、音波の性質について理解する。	音色 オームヘルムホルツの法則 音波の性質1について復習レポートを作成。
5	講義	音波の性質2、音圧、音圧レベル、音量について理解する。	音波の性質2、音圧、音圧レベル、音量について復習レポートを作成。
6	講義	騒音、NC値、音響心理1について学ぶ。	騒音、NC値、音響心理1について復習レポートを作成。
7	講義	音響心理2について学ぶ。	音響心理2について復習レポートを作成。
8	講義	電気の基礎1について学ぶ。	電気の基礎1について復習レポートを作成。
9	講義	電気の基礎2 アース ノイズについて学ぶ。	電気の基礎2 アース ノイズについて復習レポートを作成。
10	講義	電気音響機器1について学ぶ。	電気音響機器1について復習レポートを作成。
11	講義	電気音響機器2について学ぶ。	電気音響機器2について復習レポートを作成。
12	講義	電気音響機器3について学ぶ。	電気音響機器3について復習レポートを作成。
13	講義	連級制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	連級制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	試験	期末復習試験（筆記、実技）	後期の復習、期末試験の準備
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級

科目名	楽器知識1(A)	必修選択	必修・選択等	年次	1	担当教員	水見博
学科・コース	音楽テクノロジー科・コンサート企画制作、マネージャーコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	株式会社チームアクティブにて楽器テクニシャン、舞台監督として従事。実務歴26年。						
授業の学習内容	コンサートスタッフに必要なドラム、ベース、ギター、キーボード等の楽器に関する基礎知識を学ぶ。 各楽器の構造、特徴、形状、音色、略称等を学び、ドラムのセッティング方法を習得する。						
到達目標	楽器に興味を持ち、コンサート現場やプロダクション業務、学校行事等において必要となる基本的な楽器の知識を習得する。						
評価方法と基準	筆記試験　70% レポート課題提出 30%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	オリエンテーション	興味のある楽器について調べておく。
2	講義	楽器の特徴の基礎知識を知り・覚える	楽器販売店に出向き　様々な楽器の視察、カタログの入手
3	講義	DRUMSの基本セットを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ドラムについてレポート作成。
4	講義	DRUMの メーカー名 知る Bass Drum の 構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、バスドラについてレポート作成。
5	講義	Snare Drumの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、スネアについてレポート作成。
6	講義	HI-HATの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ハイハットについてレポート作成。
7	講義	HI-HAT STANDの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ハイハットスタンドについてレポート作成。
8	講義	Dr 3点のセッティング・FLOOR TOM の構造・特徴を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、タムについてレポート作成。
9	講義	TOM TOM の構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、タムについてレポート作成。
10	講義	CYMBAL及びCYMBAL STANDのメーカー名・構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、シンバルについてレポート作成。
11	講義	DRUMS 基本セット 全体のセッティングを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、セット全般についてレポート作成。
12	講義	DRUMS 基本セット 全体のセッティングを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、セット全般についてレポート作成。
13	講義	明日への扉にスタッフとして参加し、仕込みやミュージカル現場についての理解を深める①	使用されている楽器(劇中バンド)についてレポートを作成。
14	講義	明日への扉にスタッフとして参加し、仕込みやミュージカル現場についての理解を深める②	使用されている楽器(BIG BAND)についてレポートを作成。
15	テスト	復習試験	楽器について学んだことの総まとめをレポート作成。
準備学習　時間外学習		授業内容と関連した楽器についてカタログやHP等で調べ、レポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

Ipad、各楽器メーカーの商品カタログ

科目名	楽器知識2(A)	必修選択	必修・選択等	年次	1	担当教員	水見博
学科・コース	音楽テクノロジー科・コンサート企画制作、マネージャーコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	株式会社チームアクティブにて楽器テクニシャン、舞台監督として従事。実務歴26年。						
授業の学習内容	コンサートスタッフに必要なドラム、ベース、ギター、キーボード等の楽器に関する基礎知識を学ぶ。 各楽器の構造、特徴、形状、音色、略称等を学び、ドラムのセッティング方法を習得する。						
到達目標	楽器に興味を持ち授業に於いて基礎知識（名称・構造・特徴・形・音色・セッティング方法・音の出し方）等を習得し、学内イベント等現場での経験を通じ、実践力を養い将来的即戦力につなげる。						
評価方法と基準	筆記試験　70% レポート課題提出 30%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	前期の総復習 DrSETのSETTING	ドラムセッティングの復習レポートを作成。
2	講義	電気に関することを知り、覚える	海外と国内の電源事情を調べてレポートを作成。
3	講義	弦楽器全般について	楽器販売店にてカタログを収集する。
4	講義	弦楽器　ギターについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しギターについてレポート作成。
5	講義	弦楽器　ベースについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しベースについてレポート作成。
6	講義	弦楽器　ギター、ベースアンプの基礎知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しアンプについてレポート作成。
7	講義	弦楽器　ギター、ベースアンプのトランジスターアンプ知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しアンプについてレポート作成。
8	講義	弦楽器　ギター、ベースアンプの真空管アンプ知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照し真空管アンプについてレポート作成。
9	講義	鍵盤楽器　全般においての基礎知識	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照し鍵盤楽器についてレポート作成。
10	講義	鍵盤楽器　デジタルシンセサイザーについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しデジタルシンセサイザーについてレポート作成。
11	講義	後期講義に関してのまとめ	上記以外で興味のある楽器について調べてレポート作成。
12	講義	楽器についての総まとめ	過去資料を参照し理解を深める。
13	講義	進級制作展にスタッフとして参加し、楽器仕込みや音についての理解を深める。	使用されている楽器についてレポートを作成。
14	講義	We are TSM渋谷にスタッフとして参加し、楽器仕込みや音についての理解を深める。	使用されている楽器についてレポートを作成。
15	テスト	復習テスト	楽器について学んだことの総まとめをレポート作成。
準備学習　時間外学習		授業で学んだことの復習と楽器のカタログ等を自分で収集し見てレポート作成する。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	REC講座	必修選択	選択	年次	1	担当教員	前田基彦
学科・ｺｰｽ	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	フリーランスエンジニア。自身のスタジオを中心に活動。バンド/劇伴/映画サラウンド等幅広いジャンルに関わる。実務歴25年。						
授業の学習内容	レコーディングに関する基礎項目を習得する授業です。基礎知識を得る事で自身の専攻項目の関係/理解を深められます。難しい項目もありますが判りやすく授業をしますので頑張って参加し学習してください。実技と座学で機材＆音との接しかたや楽曲の捉え方まで多義に渡り解説します。服装はエンジニアリングを行うにふさわしい格好（行動しやすい靴や服で参加する事。スカートは避ける事。） 持ち物は、①授業内で使用する音源等持ち帰り用 USBメモリ・ハードディスクなどの外部記憶媒体　②自分のリファレンス（基準）となるヘッドフォンまたはイヤホン（接続はTRSまたはミニTRS）						
到達目標	レコーディングのワークフロー理解、機材の基礎的使用方法習得、レコーディング業界標準のProtools(プロツールス)の基本的な使用方法習得。						
評価方法と基準	1）筆記テスト50% 2）実技テスト50%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	１年間の計画 機材廻り信号の流れ①を理解する。	ノート復習する。
2	講義	音の聴き方を学ぶ。	楽曲準備　解析復習をレポートにまとめる。
3	講義	プロツールスについて理解する。	WEBサイト閲覧しレポートを作成する。
4	講義	マイクについての知識を学ぶ。	マイク情報を収集しレポートを作成。
5	講義	エフェクターについての知識を学ぶ。	エフェクター情報を収集しレポートを作成。
6	講義	機材廻り信号の流れについての知識を学ぶ。	ノート復習する。
7	講義	レコーディングの基礎知識を学ぶ。	シグナルフローについて復習レポートを作成。
8	講義	学園祭総括。世の中にある機材の情報収集をする。	WEBサイト閲覧により機材情報を収集しまとめる。
9	講義	音の聴き方を学ぶ。	楽曲準備し、解析復習レポートを作成。
10	講義	レコーディング技術を学ぶ。	シグナルフローについて復習レポートを作成。
11	講義	明日への扉 Recチームのワークフロー	配布資料確認
12	講義	サラウンドについて学ぶ。	配布資料確認の上、サラウンドについて復習レポートを作成。
13	講義	試験を実施する。	試験内容の不明点を明確にする。
14	講義	ライブRECシステムについて学ぶ。	配布資料確認の上、ライブRECシステムについて復習レポートを作成。
15	講義	後期授業の総括をする。	ノート復習
準備学習　時間外学習		授業内容の復習やWEBサイト閲覧によりレポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

JAPRS サウンドレコーディング技術概論　Sound & Recording マガジン

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	舞台美術概論	必修選択	選択	年次	1	担当教員	吾郷順治
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作＆ｽﾃｰｼﾞﾃﾞｻﾞｲﾅｰ、照明ﾗｲﾃｨﾝｸﾞｺｰｽ	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	舞台美術デザイナー＆空間デザイナー（コンサート、ミュージカル、ストレートプレイ、イベント等々）として活動。実務歴38年。						
授業の学習内容	舞台美術（セット）はなくてはならない物です。それを理解することはコンサート系コースのどのコースにおいても必ず意味があります。この授業では、紀元前からの舞台史を学び、舞台美術の知識を通してイマジネイションを広げて、スキルを上げていきます。						
到達目標	舞台の歴史を知ることで、これからの新しいイベント、舞台を創造しゆく知識を習得することができ、創造力豊かな舞台スタッフとしての人材を育成する。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台美術全般についての概要を説明する。	授業内容について復習レポートを作成。
2	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ（日本のコンサート）	日本のコンサートについて復習レポートを作成。
3	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ（ミュージカル）	ミュージカルについて復習レポートを作成。
4	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ（ストレートプレイ）	ストレートプレイについて復習レポートを作成。
5	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ（ダンスパフォーマンス）	ダンスパフォーマンスについて復習レポートを作成。
6	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ（世界のコンサート）	世界のコンサートについて復習レポートを作成。
7	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ（ショップデザイン）	ショップデザインについて復習レポートを作成。
8	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ（ウィンドウディスプレイ）	ウィンドウディスプレイについて復習レポートを作成。
9	講義	舞台美術スタッフの仕事を学ぶ	舞台美術スタッフの仕事について復習レポートを作成。
10	講義	工具、道具の知識と扱い方を学ぶ	工具、道具の知識と扱い方について復習レポートを作成。
11	講義	美術デザイナーの仕事について学ぶ	美術デザイナーの仕事について復習レポートを作成。
12	講義	舞台演出について学ぶ	舞台演出について復習レポートを作成。
13	講義	演劇公演の美術製作に関わる①	演劇公演の美術製作について復習レポートを作成。
14	講義	演劇公演の美術製作に関わる②	演劇公演の美術製作について復習レポートを作成。
15	試験	復習試験を実施する。	総まとめとしてレポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成する。	

【使用教科書・教材・参考書】

「舞台美術の基礎知識」（レクラム社刊：滝善光著）

科目名	照明概論2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	林之弘
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明ライティングコース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	㈱六工房　代表取締役、日本照明家協会理事、日本照明家協会一級技能士。実務歴27年。						
授業の学習内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける。 ②現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	卒業進級公演に向け、照明制作計画に沿った機材準備・設置・撤去、およびオペレーションに関連する基本的な作業ができる。						
評価方法と基準	筆記試験 ※ペーパーテストにて、仕込み、本番、撤去に必要な専門用語、機材知識の理解度を測定。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台照明の仕事って何？	舞台照明の仕事について復習レポートを作成。
2	講義	安全管理Ⅱ　綱場と高所作業が理解できる	安全管理Ⅱ　綱場と高所作業について復習レポートを作成。
3	講義	電気知識/基礎編が理解できる	電気知識/基礎編について復習レポートを作成。
4	講義	ケーブル知識を身につける②が理解できる	ケーブル知識について復習レポートを作成。
5	講義	舞台機構と舞台照明設備が理解できる	舞台機構と舞台照明設備について復習レポートを作成。
6	講義	DMX信号が理解できる	DMX信号について復習レポートを作成。
7	講義	光と色について理解できる	光と色について復習レポートを作成。
8	講義	仕込み図を作ろう/基本仕込みが書ける	仕込み図を作ろう/基本仕込みについて復習レポートを作成。
9	講義	仕込み図を作ろう/応用作図ができる	仕込み図を作ろう/応用作図について復習レポートを作成。
10	講義	後期まとめ復習テスト	後期まとめについて復習レポートを作成。
11	講義	後期・1年履修項目のまとめ	後期・1年履修項目のまとめについて復習レポートを作成。
12	講義	照明実務4/We　Are　TSMに向けて　実習	照明実務4/We　Are　TSMに向けて　実習
13	講義	進級制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明オペレートの実践と撤収作業を学ぶ。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	講義	照明実務5/We　Are　TSMに向けて　復習	We are TSM渋谷の資料作成。
準備学習　時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞

科目名	舞台制作概論1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作＆ｽﾃｰｼﾞﾃﾞｻﾞｲﾅｰｺｰｽ	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		

教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。
授業の学習内容	イベントやコンサートにおける舞台監督の業務を把握し、演目内容を進行していく能力を身につける。 実際のイベントを題材に打合せや資料作成を行う。
到達目標	舞台制作スタッフに必要な知識、スキルを身につけることが出来る。イベント現場で必要となる判断能力を向上させる。
評価方法と基準	筆記試験50% 実技試験50%

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	前期講義と舞台制作についての概要説明を行う。	自己紹介内容を事前に準備する。
2	講義	舞台知識①:舞台監督の作業について理解する。	スタッフ赤本を読んで舞台監督業務に関する復習レポートを作成。
3	講義	舞台知識②:公演内容資料を理解する。	スタッフ赤本を読んで公演内容資料に関する復習レポートを作成。
4	講義	舞台知識③:図面が理解できるようになる。	スタッフ赤本を読んで舞台図面に関する復習レポートを作成。
5	講義	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	学園祭の打合せに参加し、資料を作成する。
6	講義	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料をまとめる。
7	講義	舞台知識④:各スタッフとの共有作業ができるようになる。	舞台スタッフとの共有作業について復習レポートを作成。
8	講義	高所・仮設作業について理解する。	高所・仮設作業について復習レポートを作成。
9	講義	知識応用①:墨出しを学ぶ。	墨出しについて復習レポートを作成。
10	講義	知識応用②:タッパ決めについて学ぶ。	タッパ決めについて復習レポートを作成。
11	講義	知識応用③:リハーサル進行について学ぶ。	リハーサル進行について復習レポートを作成。
12	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
13	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	撤収作業から現状復帰までを行なう。
14	講義	知識応用④:公演進行の方法について学ぶ。	公演進行について復習レポートを作成。
15	試験	復習試験	前期まとめの復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、学園祭や明日への扉の打合せ、資料作成を行う。	

【使用教科書・教材・参考書】

スタッフ赤本

科目名	舞台制作概論2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作＆ｽﾃｰｼﾞﾃﾞｻﾞｲﾅｰｺｰｽ	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習内容	公演内容を把握し、必要な資料作成を行う。Excel・PowerPointを使って資料作成を行う。						
到達目標	公演開催において、計画的に進行するための資料を作成するスキルを身につけることが出来る。						
評価方法と基準	筆記試験50% 実技試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	後期講義と舞台制作についての概要説明を行う。	前期授業内容を復習しておく。
2	講義	台本を作成する①:マスター作成ができるようになる。	マスター作成について復習レポートを作成。
3	講義	台本を作成する②:進行内容が書けるようになる。	進行内容を書くことについて復習レポートを作成。
4	講義	台本を作成する③:ト書きについて理解する。	ト書きの理解について復習レポートを作成。
5	講義	オリジナル台本を創ってみる。	オリジナル台本作成の復習レポートを作成。
6	講義	台本を基本に資料を作成する。	台本について復習レポートを作成。
7	講義	台本を印刷製本する。	印刷した台本を読む。
8	講義	We AreTSMの演出内容について考察し、資料を作成する。	We are TSM渋谷の打合せを行う。
9	講義	We AreTSMの舞台監督業務内容を理解する。	We are TSM渋谷の資料を作成する。
10	講義	We AreTSMの舞台監督業務におけるタイムテーブルや図面の作成を行う。	We are TSM渋谷のリハーサルを行う。
11	講義	We AreTSMの演出内容についてあらためて考察し、現状の資料をまとめる。	We are TSM渋谷のリハーサルを行う。
12	講義	We AreTSMの演出内容について照明、PA、映像セクションとの調整を行う。	進級制作展についての資料をまとめる。
13	講義	進級制作展にスタッフとして参加する。	打合せ、ﾘﾊｰｻﾙ立会、資料の作成。
14	講義	卒業進級制作展にスタッフとして参加する。	打合せ、ﾘﾊｰｻﾙ立会、資料の作成。
15	試験	復習試験を実施する。	後期まとめの復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、学園祭や明日への扉の打合せ、資料作成を行う。	

【使用教科書・教材・参考書】

スタッフ赤本

科目名	Vecter Works Basic1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習内容	図面製作ソフトベクターワークスの基本的な使い方を学び、実践で扱える技術を身につける。						
到達目標	ベクターワークスを使い、図形作成の知識、スキルをを習得する。						
評価方法と基準	知識を測るレポート提出　50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	前期授業についての概要説明、MACの基本操作を学ぶ。	基本的なPC操作の復習レポートを作成。
2	講義	ベクターワークスに慣れる①	授業内容の復習レポートを作成。
3	講義	ベクターワークスに慣れる②	授業内容の復習レポートを作成。
4	講義	直線・曲線を自由に描く	直線、曲線を描く復習レポートを作成。
5	講義	多角線を描く	多角線を描く復習レポートを作成。
6	講義	図形を描く	図形を描く復習レポートを作成。
7	講義	線と図形を組み合わせて描く	図形を描く復習レポートを作成。
8	講義	縮尺を理解し、慣れて使う①	授業内容の復習レポートを作成。
9	講義	縮尺を理解し、慣れて使う②	授業内容の復習レポートを作成。
10	講義	劇場図面を理解する①	様々な劇場の図面を調べてみる。
11	講義	劇場図面を理解する②	様々な劇場の図面を調べてみる。
12	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理
13	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理
14	講義	簡易図面を作成する	授業内容の復習レポートを作成。
15	講義	前期まとめ　復習テスト	前期まとめの復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、資料のまとめ、整理をする。	

【使用教科書・教材・参考書】

ベクターワークス トレーニングブックより抜粋

科目名	Vecter Works Basic2	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習内容	図面製作ソフトベクターワークスの基本的な使い方を学び、実践で扱える技術を身につける。						
到達目標	ベクターワークスを使い、図形作成・照明仕込み図作成の知識、スキルを習得する。						
評価方法と基準	知識を測るレポート提出　50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	前期授業内容のふりかえり	前期授業内容の復習をしておく。
2	講義	袖幕配置、照明仕込み図のシンボル登録方法を学ぶ。	袖幕、シンボル登録の復習レポートを作成。
3	講義	舞台セット図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
4	講義	舞台セット図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
5	講義	舞台総合図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
6	講義	舞台図面の色つけと照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	色付け、仕込み図の復習レポートを作成。
7	講義	舞台図面のオリジナル図作成と照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	オリジナル図の課題提出、仕込み図復習レポートを作成。
8	講義	舞台のデザイン図と照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	デザイン図の課題提出、仕込み図復習レポートを作成。
9	講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展の内容を調べておく。
10	講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展の内容を調べておく。
11	講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展内容変更修正の把握。
12	講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展内容変更修正の把握。
13	講義	作成した図面を活かし、進級制作展の舞台、照明を仕込む。	進級制作展の図面作成と資料の整理
14	講義	作成した図面を活かし、卒業進級制作展の舞台、照明を仕込む。	卒業進級制作展の図面作成と資料の整理
15	講義	年度末課題復習試験	後期授業の復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、卒業進級制作展の準備を行う。	

【使用教科書・教材・参考書】

ベクターワークス トレーニングブックより抜粋・実公演図面

科目名	Global communication1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	池末　信
学科・ｺｰｽ	音楽テクノロジー科1年　昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト（筆記100%)による採点						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	挨拶が出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 1
2	講義	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 3
3	講義	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 6
4	講義	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 8
5	講義	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 11
6	講義	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 7 &　13
7	講義	継続して質問することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 14
8	講義	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願いできるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 19 & 20
9	講義	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 21 & 23
10	講義	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文できるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 28
11	講義	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明できるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 29 & 30
12	講義	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明できるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 32
13	講義	復習	復習オンラ インプラク ティス
14	定期試験	定期試験	試験を振り替えり、間違ったところを復習しレポートにまとめる。
15	振返り	1~14の振り返り学習をし、総合的に確認し会話習得できる。	1～14の苦手な部分と得意な部分を書き出してレポートにまとめる。
準備学習　時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	

【使用教科書・教材・参考書】

Speak Now 1

科目名	Global communication2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	池末　信
学科・ｺｰｽ	音楽テクノロジー科1年　昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト（筆記100%)による採点						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	挨拶が出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 1
2	講義	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 3
3	講義	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 6
4	講義	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 8
5	講義	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 11
6	講義	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 7 &　13
7	講義	継続して質問することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 14
8	講義	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願いできるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 19 & 20
9	講義	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 21 & 23
10	講義	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文できるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 28
11	講義	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明できるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 29 & 30
12	講義	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明できるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 32
13	講義	復習	復習オンラ インプラク ティス
14	定期試験	定期試験	試験を振り替えり、間違ったところを復習しレポートにまとめる。
15	振返り	1~14の振り返り学習をし、総合的に確認し会話習得できる。	1～14の苦手な部分と得意な部分を書き出してレポートにまとめる。
準備学習　時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	

【使用教科書・教材・参考書】

Speak Now 1

科目名	韓国語講座 1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	崔　可暎
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
学科・コース	音楽テクノロジー科1年　昼間部一						
教員の略歴							
授業の学習内容	ハングルの理解、読み、聞き、作文まで対応 学んだ内容を基に、チームワークで会話の練習を行う 教科書で学んだものを応用して活用できるような発表も行う						
到達目標	韓国語での日常会話が可能になる 韓国語能力試験（TOPIK）の獲得を目標にします						
評価方法と基準	試験：100%（筆記、会話、聴解）						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	ハングルの理解	ハングルについて調べてレポートにまとめる
2	講義	ハングルの読み	ハングルの読みについての復習
3	講義	ハングルの読みのテスト	未達成箇所の復習
4	講義	パッチムの理解	パッチムについて調べてレポートにまとめる
5	講義	リスニング練習・テスト	未達成箇所の復習
6	講義	挨拶の会話文	挨拶の会話文を用いた例文の作成及び挨拶の種類について調べる
7	講義	「あります」「ありません」を使った表現	「あります」「ありません」の例文作成及び形容詞について調べる
8	講義	形容詞の応用	形容詞を用いた例文の作成及び敬語について調べる
9	講義	敬語の理解と使用	敬語で例文の作成及び敬語について調べる
10	講義	過去形文の理解	過去形文の作成及び未来形文について調べる
11	講義	未来形文の理解	未来形文の作成及び可能系文について調べる
12	講義	可能系文の理解	可能系文の作成及び次回授業での作文を構想する
13	講義	作文	韓国のビデオコンテンツ（字幕あり）を鑑賞し、感想文（日本語）を作成する
14	講義	期末テスト	未達成箇所の復習
15	講義	前期実施項目の復習	後期実施項目の予習
準備学習　時間外学習			

【使用教科書・教材・参考書】

韓国語初歩の初歩　CD付／韓国語「文法」トレーニング

科目名	韓国語講座 2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	崔　可暎
学科・コース	音楽テクノロジー科1年　昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	ハングルの理解、読み、聞き、作文まで対応 学んだ内容を基に、チームワークで会話の練習を行う 教科書で学んだものを応用して活用できるような発表も行う						
到達目標	韓国語での日常会話が可能になる 韓国語能力試験（TOPIK）の獲得を目標にします						
評価方法と基準	試験：100%（筆記、会話、聴解）						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	空港での表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（日本語）を作成する
2	講義	郵便局での表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（日本語）を作成する
3	講義	旅行先での表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（日本語）を作成する
4	講義	映画館・デートでの表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（日本語）を作成する
5	講義	病院に行った時の表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（日本語）を作成する
6	講義	美容室に行った時の表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（日本語）を作成する
7	講義	手紙の表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕あり）を鑑賞し、感想文（韓国語）を作成する
8	講義	褒め言葉・指摘言葉	韓国のビデオコンテンツ（字幕あり）を鑑賞し、感想文（韓国語）を作成する
9	講義	リスニングのテスト	韓国のビデオコンテンツ（字幕あり）を鑑賞し、感想文（韓国語）を作成する
10	講義	面接の表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕あり）を鑑賞し、感想文（韓国語）を作成する
11	講義	フリートーク（自分の国について）	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（韓国語）を作成する
12	講義	フリートーク（趣味について）	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（韓国語）を作成する
13	講義	作文	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（韓国語）を作成する
14	講義	期末テスト	未達成箇所の復習
15	講義	後期実施項目の復習	総復習
準備学習　時間外学習			

【使用教科書・教材・参考書】

韓国語初歩の初歩　CD付／韓国語「文法」トレーニング

科目名	日本語講座 1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	池村雅彦
学科・コース	音楽テクノロジー科1年　昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	日本語能力試験合格のために必要な文法、語彙の意味、用法を学び練習問題で理解度を確認する。また適切なコミュニケーションがとれるように自然な表現、慣用表現などを導入、練習する。						
到達目標	①日本語能力試験N1合格を目指す。②上級レベルの文法、語彙、慣用表現を使えるようになる。③学んだ表現を使って自身の考え、物事の説明が適切にできる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	日本語講習の重要性と講習内容説明	アンケート
2	講義	レベルチェックテスト、自己紹介	自己の振り返り
3	講義	判断、意志を表す表現が理解できる	レベルチェックテストの復習
4	講義	仮定条件を使って判断、意志を表現することができる	提出文型、表現の復習
5	講義	理由を強調して自身の考えを述べることが出来る	提出文型、表現の復習
6	講義	意向形を使い自身の考えを述べることが出来る	提出文型、表現の復習
7	講義	地位や立場を表す表現を使って自身の判断を述べることができる	提出文型、表現の復習
8	講義	「～ない」を使った間接的な言い方が理解できる	提出文型、表現の復習
9	講義	二重否定、反語を理解し正しく使うことが出来る	提出文型、表現の復習
10	講義	目標、目的をかたい表現で言うことができる	提出文型、表現の復習
11	講義	結果、事実関係を正確に伝えることができる	提出文型、表現の復習
12	講義	時間関係の表現を使い分けることができる	宿題
13	講義	前期実施項目の復習	宿題
14	講義	試験実施	宿題
15	講義	総復習を通して、後期で強化する点を知る	宿題
準備学習　時間外学習			

【使用教科書・教材・参考書】 スピードマスターN1文法、語彙力ぐんぐん1日10分、その他必要に応じた資料

科目名	日本語講座 2	必修選択	必修	年次	1	担当教員	池村雅彦
学科・コース	音楽テクノロジー科1年　昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	日本語能力試験合格のために必要な文法、語彙の意味、用法を学び練習問題で理解度を確認する。適切なコミュニケーションがとれるように自然な表現、慣用表現などを導入、練習する。テーマに沿ってグループディスカッション実施、グループの意見をまとめ発表する。						
到達目標	①日本語能力試験N1合格を目指す。②上級レベルの文法、語彙、慣用表現が適切に使えるようになる。③学んだ表現を使って自身の考え、物事の説明が適切にでき、スムーズなコミュニケーションがとれる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	挨拶、自己紹介を日本語でできる。	挨拶の復習と年間勉強計画表を作成
2	講義	大きさや量を強調する表現が理解できる	大きさや量を強調する表現の文型を作りレポート作成
3	講義	「ごとく」を使った表現を使い分けることができる	「ごとく」を使った表現の文型を作りレポート作成
4	講義	連続する動作を表す表現を使うことができる	連続する動作を表す表現の文型を作りレポート作成
5	講義	評価や感情を表す表現を使うことができる	評価や感情を表す表現の文型を作りレポート作成
6	講義	大切で不可欠であることを表現できる	大切で不可欠であることを表現の文型を作りレポート作成
7	講義	価値や能力について適切に表現できる	価値や能力についての表現の文型を作りレポート作成
8	講義	「かいがある」などの似かよった表現が理解できる	「かいがある」などの似かよった表現の文型を作りレポート作成
9	講義	強い感情、気持ちを書き言葉で表せる	強い感情、気持ちの表現の文型を作りレポート作成
10	講義	状況を否定的、消極的な気持ちで表すことができる	状況を否定的、消極的な表現の文型を作りレポート作成
11	講義	驚き、感嘆、疑問などの表現が理解できる	驚き、感嘆、疑問などの表現の文型を作りレポート作成
12	講義	一つの例を示して他にもあることを強調できる	一つの例を示して他にもあることの表現の文型を作りレポート作成
13	講義	価値や能力について適切に表現できる	価値や能力についての表現の文型を作りレポート作成
14	講義	復習試験	試験準備として、これまでのレポートを確認しまとめる。
15	講義	総復習と意見交換	1~11の苦手なところを確認し再度レポートにまとめる。
準備学習　時間外学習			

【使用教科書・教材・参考書】 スピードマスターN1文法、新完全マスターN1語彙、その他必要に応じた資料